SoftBank モバイルデータ通信端末

Wi-Fi アクセス for ビジネス
接続用ユーティリティご利用マニュアル

SoftBank

2015 年 8 月

はじめに

この度は、Wi-Fiアクセス for ビジネスをご契約いただきまして、誠にありがとうございます。
本冊子は、ご契約いただきました「Wi-Fiアクセス for ビジネス」にて当社所定のモバイルデータ通信端末（以下、「対象モバイルデータ通信端末」といいます。）専用「Wi-Fiアクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」（以下、「接続用ユーティリティ」といいます。）の利用方法について説明したマニュアルです。
本冊子をご参照の上、各種設定をいただきますようお願い申し上げます。

● 「Wi-Fiアクセス for ビジネス」とは

「Wi-FIアクセス for ビジネス」とは、Windows®8.1タブレット端末および対象モバイルデータ通信端末をご利用のお客さまがソフトバンクWi-Fiスポットをご利用いただける法人様向けのオプションサービスです。対象モバイルデータ通信端末からのソフトバンクWi-Fiスポットへの接続には、対象モバイルデータ通信端末向けの接続用ユーティリティが必要です。詳しくは、同プランのご紹介資料などをご参照下さい。

● ご注意事項

- 本サービスをご利用いただくには利用規約に同意していただく必要があります。
  ※利用規約は下記ソフトバンクのホームページからご確認いただけます。
  （http://mb.softbank.jp/biz/price_plan/data_com/wifi_access/）
- 本サービスをご利用いただく前に重要事項説明の内容についてご確認下さい。
  ※重要事項説明は下記ソフトバンクのホームページからご確認いただけます。
  （http://www.softbank.jp/mobile/legal/spguide/price_plan/#for-biz）
- 本サービスをご利用いただくには、対象モバイルデータ通信端末向け「Wi-Fiアクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」が必要です。
- 本サービスのご利用には、IEEE 802.11b/g に準拠した Wi-Fi 認定の無線 LAN 機能（無線 LAN アダプタを除く）が搭載されているパソコンが必要となります。
- 無線 LAN アダプタを対応パソコンに接続して本サービスを利用した場合、または対応 OS の無線 LAN サービス等を無効化した場合、接続用ユーティリティの起動ならびに 4G/3G 通信サービスおよびソフトバンク Wi-Fi スポットへの接続および通信ができません。対応パソコン内蔵の無線 LAN 機能をご利用の上、対応 OS の無線 LAN サービス等を有効化してご利用下さい。
- USIM に PIN コード認証を設定した場合は、接続用ユーティリティをご利用になれません。PIN コードが設定されている場合は、対象モバイルデータ通信端末に付属の接続ソフトウェアを利用して解除を行って下さい。
- 接続用ユーティリティ並びにソフトバンク Wi-Fi スポットへ接続する場合は、本サービスに加入された USIM を挿入した対象モバイルデータ通信端末をパソコンに接続する必要があります。
- 本サービスをご利用いただくには交換機暗証番号が必要です。
  ※交換機暗証番号とはお客さまがご契約時に指定いただく 4 桁の暗証番号です。
- 接続用ユーティリティは 30 日に 1 回程度の割合で更新確認を行います。その際は 1 キロバイト未満の通信が発生します。ご契約の料金プランが従量プランなどで、当該更新確認の通信を停止させたい場合は、更新確認を行わない設定にすることも可能です。
- 接続用ユーティリティを起動する際にパスワード認証をする設定にした際は必ずパスワードをお控え

下さい。パスワードをお忘れになった場合は、再インストールなどを行ってもパスワードロック設定が引き継がれる為、接続用ユーティリティを起動することが出来なくなります。

- 4G および 4G LTE のご利用には対応料金プランを登録した対象モバイルデータ通信端末が必要です。
  （2015 年 8 月 19 日現在 対応モバイルデータ通信端末は SoftBank 203HW および SoftBank 403ZT となります）

- SoftBank 004Z は接続用ユーティリティバージョン「1.1.0.0」以上でご利用が可能です。
- SoftBank 007Z for Biz は接続用ユーティリティバージョン「1.4.0.0」以上でご利用が可能です。
- SoftBank 203HW は接続用ユーティリティバージョン「1.5.0.0」以上でご利用が可能です。
- SoftBank 403ZT は接続用ユーティリティバージョン「1.8.0.0」以上でご利用が可能です。
- SoftBank 403ZT（IPv6 通信）は接続用ユーティリティバージョン「1.9.0.0」以上でご利用が可能です。

- 接続用ユーティリティを最新バージョンにアップデートしない場合は、ソフトバンク Wi-Fi スポットの提供区域であっても本サービスをご利用いただけない場合があります。
- 2012年3月31日をもって成田国際空港のローミングサービスは終了しました。

ソフトバンク株式会社
エンタープライズ・サポート統括部

SoftBank

目次

はじめに …… i
1. 接続用ユーティリティのインストールについて …… 1
1－1. インストールの準備 …… 1
1—1—1. サービスご利用に必要なもの …… 1
1—1—2. インストール前の準備 …… 1
1－2. SoftBank 004Z ご利用時の設定 …… 3
1—2—1. SoftBank 004Z Utility の設定変更 …… 3
1—2—2. Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティのインストール …… 4
1—2—3. 料金プラン毎の通信設定 …… 4
1—2—4. 接続先 APN の確認と設定 …… 5
1—2—5. 接続先アカウント情報の確認と設定 …… 7
1－3. SoftBank 007Z for Biz ご利用時の設定 …… 9
1—3—1. スリープ設定 …… 9
1—3—2. SSID のブロードキャスト設定 …… 10
1－4. SoftBank 203HW ご利用時の設定 …… 11
1—4—1. SoftBank 203HW Utility の設定変更 …… 11
1—4—2. Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティのインストール …… 12
1—4—3. 料金プラン毎の通信設定 …… 13
1—4—4. 接続先 APN の確認と設定 …… 14
1—4—5. 接続先アカウント情報の確認と設定 …… 16
1－5. SoftBank 403ZT ご利用時の設定 …… 18
1—5—1. Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティのインストール …… 18
1—5—2. 料金プラン毎の通信設定 …… 18
1—5—3. 接続先 APN の確認と設定 …… 19
1—5—4. 接続先アカウント情報の確認と設定 …… 21
1－6. インストール手順 …… 23
1—6—1. 接続用ソフトウェアのインストール …… 23
1—6—2. 接続用ソフトウェアのインストール for Windows 8/Windows 8.1 …… 23
1—6—3. 接続用ソフトウェアのインストール for Windows Vista/Windows 7 …… 27
1—6—4. 接続用ソフトウェアのインストール for Windows XP …… 30
1－7. 初回起動時の設定 …… 36
1—7—1. 接続用ソフトウェアの起動 …… 36
2. 接続用ユーティリティの基本的な使い方 …… 39
2－1. 画面表示 …… 39
2—1—1. メイン画面 …… 39
2－2. 接続の手順 …… 42
2—2—1. 自動接続について …… 42
2—2—2. 手動接続について …… 43
3. 接続用ユーティリティの設定方法 …… 44
3－1. 接続先設定 …… 44
3—1—1. 設定画面の表示方法 …… 44
3—1—2. 接続先プライオリティの変更 …… 45

3－1－3. 自動切替えの設定 ・・・・・45
3－1－4. 接続先の追加手順 ・・・・・46
3－1－5. 接続先の削除手順 ・・・・・47
3－1－6. 接続先の編集手順 ・・・・・48
3－2. 基本設定 ・・・・・50
3－2－1. 設定画面の表示方法 ・・・・・50
3－2－2. 全般タブの設定 ・・・・・51
3－2－3. ネットワーク検索タブの設定 ・・・・・53
3－2－4. 接続・切替タブの設定 ・・・・・54
3－2－5. アカウントタブの設定 ・・・・・55
3－2－6. アプリケーション管理タブの設定 ・・・・・56
4. 接続用ユーティリティのアンインストール ・・・・・57
4－1. 設定を初期化してアンインストール ・・・・・57
4－1－1. アンインストール手順 ・・・・・57
5. お問い合わせ先 ・・・・・59

1. 接続用ユーティリティのインストールについて

1－1. インストールの準備

対象モバイルデータ通信専用端末をパソコンへ接続させる際に必要となるものについてご説明します。

【1－1－1. サービスご利用に必要なもの】

接続用ユーティリティをインストールする前に、以下をご確認下さい。

① 本サービスに対応した対象モバイルデータ通信端末（2015 年 8 月 19 日現在）

SoftBank 403ZT、203HW、007Z for Biz、004Z、C02SW、C01SW、C01SI

※SoftBank 004Z は接続用ユーティリティバージョン「1.1.0.0」以上でご利用が可能です。
※SoftBank 007Z for Biz は接続用ユーティリティバージョン「1.4.0.0」以上でご利用が可能です。
※SoftBank 203HW は接続用ユーティリティバージョン「1.5.0.0」以上でご利用が可能です。
※SoftBank 403ZT は接続用ユーティリティバージョン「1.8.0.0」以上でご利用が可能です。
※SoftBank 403ZT（IPv6 通信）は接続用ユーティリティバージョン「1.9.0.0」以上でご利用が可能です

② 本サービスに加入された USIM

③ ご利用になるパソコン（インストール時は管理者権限が必要）

・接続用ユーティリティの下記使用要件を満たしていることが必要です。

項目	説明
対応 OS ※全て日本語版のみ対応	Windows XP（SP3 以上） Professional/Home Windows Vista（32/64bit） Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic Windows 7（32/64bit） Ultimate/Professional/Home Premium Windows 8（32/64bit）※1 Windows 8/Pro/Enterprise Windows 8.1（32/64bit）※2 Windows 8.1/Pro/Enterprise
推奨 CPU	PentiumⅢ以上
推奨メモリ容量	256MB 以上
推奨 HDD 空容量	アプリケーション領域： 20MB 以上 インストール時の一時領域： 100MB 以上
インターフェイス	下記のいずれかでデータ通信端末が利用できること ・USB2.0 ・Compact Flash TypeⅡ ・PC カード TypeⅡ
その他	IEEE 802.11b/g に準拠した Wi-Fi 認定の無線 LAN 機能（無線 LAN アダプタを除く）が搭載されていること

※1 Windows8 は接続用ユーティリティバージョン「1.5.0.0」以上で対応
※2 Windows8.1 は接続用ユーティリティバージョン「1.6.0.0」以上で対応

【1－1－2. インストール前の準備】

007Z for Biz 以外の対象モバイルデータ通信端末をご利用の場合は、接続用ユーティリティをインストールする前に、付属のドライバ及び、接続ソフトウェアをインストールして自動的に起動しない設定にしておく必要があります。インストール・設定方法に関しては付属のマニュアル等を御参照下さい。（203HW/304ZT の接続ソフトウェアでは自動起動 OFF 設定ができません。また、C02SW 及び、C01SW をご利用の場合は、自動的に起動しない設定に変更されます。）

004Z をご利用のお客さまは本書 P3「1-2. SoftBank 004Z ご利用時の設定」を参照

007Z for Biz をご利用のお客さまは本書 P9「1-3. SoftBank 007Z for Biz ご利用時の設定」を参照

203HW をご利用のお客さまは本書 P11「1-4. SoftBank 203HW ご利用時の設定」を参照

403ZT をご利用のお客さまは本書 P18「1-5. SoftBank 403HW ご利用時の設定」を参照

＜接続ソフトウェア例＞※007Z for Biz は接続ソフトウェアがございません。

403ZT の場合	「SoftBank 403ZT Utility」
203HW の場合	「SoftBank 203HW Utility」
004Z の場合	「SoftBank 004Z Utility」
C02SW、C01SW の場合	「3GWatcher」
C01SI の場合	「ソフトバンクコテクトカードユーティリティ for C01SI」

1－2. SoftBank 004Z ご利用時の設定

【1－2－1. SoftBank 004Z Utility の設定変更】

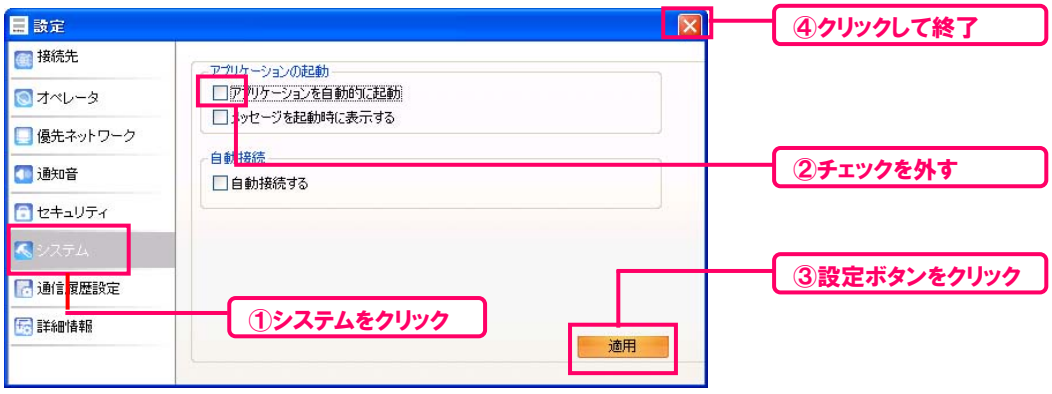
接続用ユーティリティをインストールする前に「SoftBank 004Z Utility」が自動的に起動しない設定を行います。

1.「SoftBank 004Z Utility」の起動

起動画面の設定ボタンをクリックして設定メニューを表示させます。

2. 設定をします

起動画面の「システム」をクリックし「ツールを自動的に起動」部分のチェックを外し「適用」ボタンをクリックし設定を終了します。



3.「SoftBank 004Z Utility」を終了します。

【1－2－2. 接続用ユーティリティのインストール】

「Wi-Fi アクセス　for ビジネス接続用ユーティリティ」をインストールします。

インストール方法は本書 P23「1－6. インストール手順」を参照し設定を行って下さい。

《注意！》 SoftBank 004Z は接続用ユーティリティバージョン「1.1.0.0」以上でご利用が可能です。
インストール後に「メニュー」をクリックし「バージョン情報」をクリックすることでバージョンを確認することができます。

004Z を定額料金プランでご利用の場合、以降の設定作業は不要です。

※定額料金プランでも接続ができない場合は、1－2－3. から1－2－5. の手順に従い設定を確認して下さい。

【1－2－3. 料金プラン毎の通信設定】

次の表を参照し、ご利用になる料金プランの接続設定を確認します。

モバイルゲートウェイをご利用の場合は、個別にご利用になる設定情報を確認して下さい。

料金プラン毎の接続設定

ご利用料金プラン	接続設定		
	APN	ユーザ名	パスワード
【定額料金プラン】 法人データ通信プラン（ULTRA SPEED） 法人データ通信プランフラット（ULTRA SPEED）	bizflat.softbank	biz@bizflat.softbank	biz
【従量料金プラン】 データバリューパックなどの従量料金プラン	softbank	ai@softbank	softbank
【その他】 モバイルゲートウェイをご利用の場合	個別にご確認下さい。		

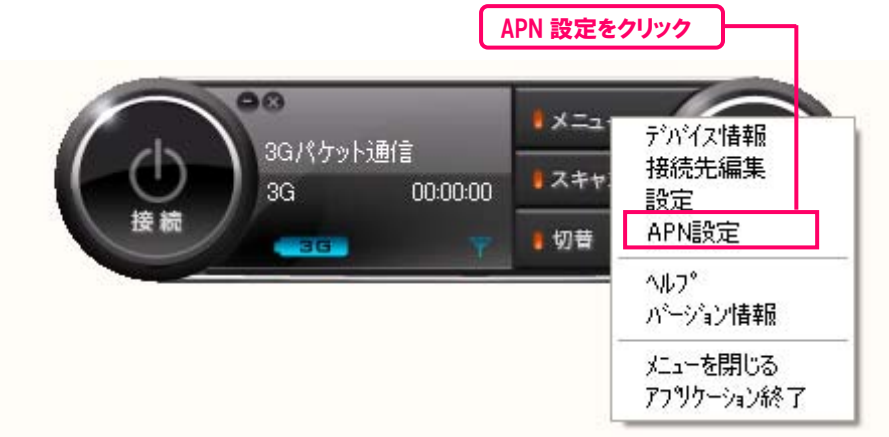
《注意！》 SoftBank 004Z はご契約の料金プランにあわせた接続の設定をする必要があります。
本手順にて正しい設定情報を確認し、以降の設定作業を行って下さい。

【1－2－4. 接続先 APN の確認と設定】

1. 設定画面を開きます。

「Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」を起動します。

ご利用になる SoftBank 004Z をパソコンに挿入して「メニュー」から「APN 設定」をクリックします。



2. 接続先の APN を確認します。

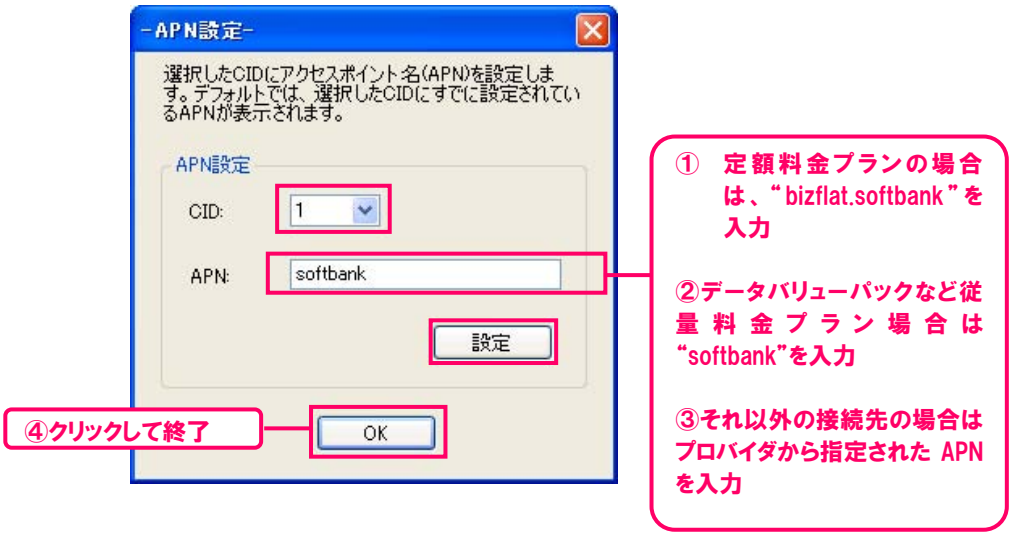
表示されている APN が、【1－2－3. 料金プラン毎の通信設定】で確認した APN と同じ場合は設定以降の3. ～5. の APN 設定作業は不要です。作業が不要な場合は「OK」ボタンをクリックして終了します。

3. 接続先の APN を設定します。

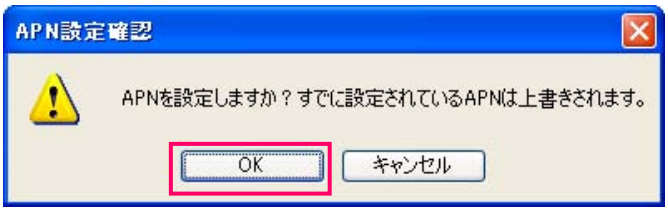
CID を「1」に設定し、【1－2－3. 料金プラン毎の通信設定】で確認したご利用料金プランの APN を「APN」に入力し「設定」ボタンをクリックします。

設定が完了したら「OK」ボタンをクリックして終了します。

※図はアクセスインターネットでの設定イメージです。



4. 設定の確認をします。
APN の設定を開始しますので「OK」をクリックします。



5. 書き込みが完了しました。
「OK」をクリックして APN 設定画面を終了します。

《注意！》 SoftBank 004Z で接続先限定設定を行い、APN の編集を禁止している場合は、“APN の設定に失敗しました。”と表示され設定がされません。

《注意！》 定額料金プランをご利用の場合、定額料金プラン専用 APN（APN 名：bizflat.softbank）以外の APN を設定されると通信料が従量課金となり請求額が高額となる場合がありますので、設定される APN には十分にご注意下さい。

《注意！》 SoftBank 004Z Utility をご利用になった場合は、SoftBank 004Z Utility で最後に通信をを行った接続先の APN に変更されます。（APN とユーザー名、パスワードの組み合わせが間違っている場合は接続に失敗する為、本手順で APN の再設定を行って下さい。

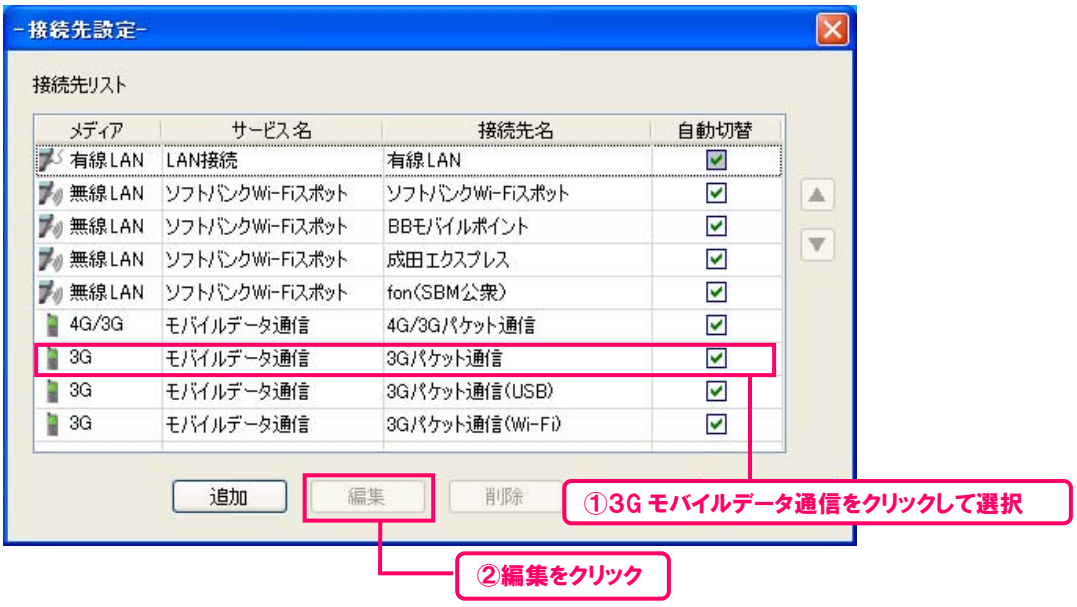
【1－2－5. 接続先アカウント情報の確認と設定】

1. 接続先編集画面を開きます。

「メニュー」から「接続先編集」をクリックします。

2. 接続先編集画面を開きます。

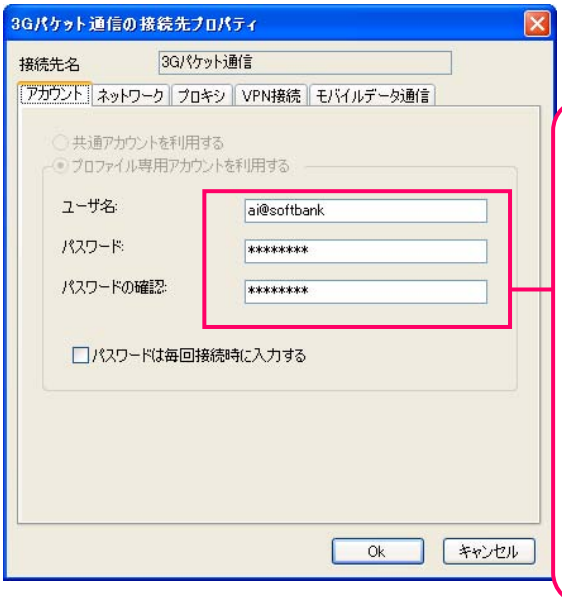
接続先リスト「3G　モバイルデータ通信」を選択して「編集」をクリックします。



3. アカウント情報を変更します。

【1－2－3. 接続先設定の確認】で確認した、ご利用料金プランの接続設定を参考に「ユーザ名」と「パスワード」、「パスワードの確認」に入力し「OK」をクリックして終了します。

※図はアクセスインターネットでの設定イメージです。



①定額料金プランの場合は以下を入力します。
ユーザ名“biz@bizflat.softbank”
パスワード“biz”

②データバリューパックなど従量料金プランの場合は以下を入力します。
ユーザ名“ai@softbank”
パスワード“softbank”

③それ以外の接続先の場合はプロバイダから指定されたユーザ名及びパスワードを入力します。

4. 接続先編集画面を終了します。

「閉じる」ボタンをクリックして終了します。

閉じるをクリック

1－3. SoftBank 007Z for Biz ご利用時の設定

【1－3－1. スリープ設定】

スリープ設定を OFF にすることを推奨します。

SoftBank 007Z for Biz は工場出荷設定の場合、1 分間無線 LAN 接続が無い状態が続くと自動的にスリープ状態となり無線 LAN の電波を停止します。（本体のボタンを押すことにより復旧）

無線 LAN が停止した場合は、パソコンからの接続ができなくなり、ソフトバンク Wi-Fi スポットの接続や、SoftBank 007Z for Biz を利用した通信ができない状態となります。

以下の手順に従いスリープ設定を OFF に設定して下さい。

《注意！》 SoftBank 007Z for Biz でスリープ設定を OFF に設定すると、端末の本体の電池消耗が通常より早くなります。

1.「SoftBank 007Z for Biz」の起動

SoftBank 007Z for Biz の電源ボタンを 3 秒以上押して電源を入れます。

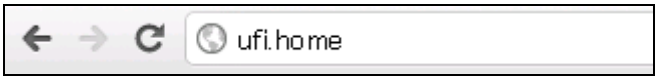
2. パソコンとの接続

パソコンの無線 LAN 機能を ON にして 007Z for Biz とパソコンを接続します。

※接続方法は SoftBank 007Z for Biz User Guide 取扱説明書内（2-2 無線 LAN で接続する）をご確認下さい。

3. 管理画面の接続

パソコンのブラウザを起動しアドレスバーに「ufi.home」と入力し接続します。



4. 管理画面のログイン

管理者パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

※工場出荷状態の SoftBank 007Z for Biz は管理者パスワードに「admin」が設定されています。

管理者パスワードを入力しログイン

5. 端末設定

管理画面にログインができたら画面左側から「設定」→「端末設定」の順にクリックします
次に、画面右にあるスリープ設定をクリックして「ON/OFF 設定」の値を OFF に変更します。
変更が終わったら、「適用」をクリックし作業は完了です。

【1－3－2. SSID のブロードキャスト設定】

Wi-Fi アクセス for ビジネスの接続用ユーティリティは、認証に SoftBank 007Z for Biz の無線 LAN ビーコンを使用する為、ブロードキャスト設定が「OFF」となっている場合はご利用いただけません。
1－3－1. と同様の手順で管理画面にログインし、「ブロードキャストネットワーク名（SSID）の設定」を「ON」に変更します。※工場出荷設定の場合は「ON」に設定されている為、変更は不要です。

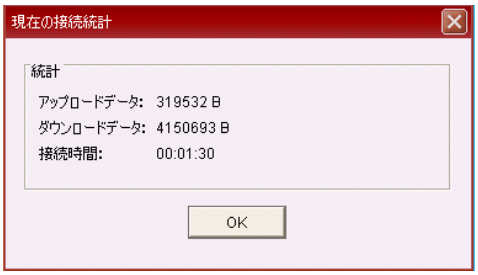
1－4. SoftBank 203HW ご利用時の設定

【1－4－1. SoftBank 203HW Utility の設定変更】

「Wi-Fi アクセス for ビジネス」で利用する、接続用ユーティリティをインストールする前に「SoftBank 203HW Utility」が最小化で起動するよう設定を行います。

《注意！》203HW Utility は自動起動 OFF の機能がないため、接続用ユーティリティと同時起動してご利用下さい。なお、接続用ユーティリティご利用中に 203HW Utility で接続・切断等の操作をされた場合、接続用ユーティリティ上での挙動と 203HW の挙動に相違が発生し、正常に動作しない場合があります。本サービスをご利用中は 203HW Utility での操作はご遠慮下さい。また、203HW Utility は最小化起動設定にていただくことをお薦め致します。

《注意！》接続用ユーティリティで 203HW の接続・切断処理を行うと、下図のようなメッセージが表示されます。メッセージの非表示機能はありません。表示されましたら OK ボタンまたは右上「×」をクリックして下さい。（自動で表示が終了するメッセージもあります）



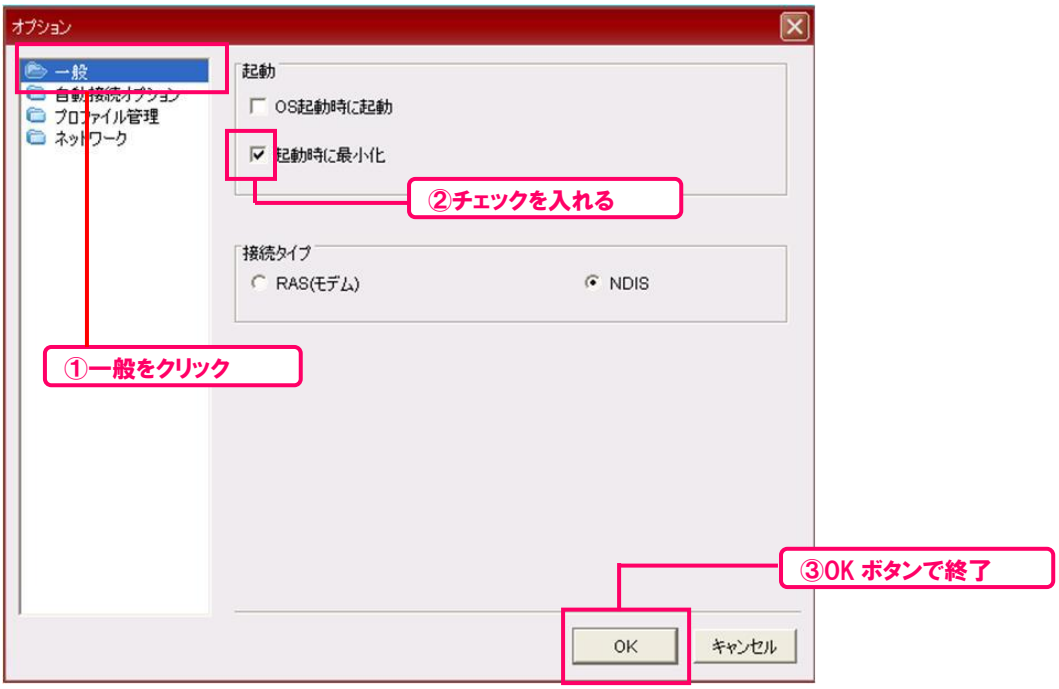
1.「SoftBank 203HW Utility」の起動

起動画面のメニューボタンをクリックしてオプションを表示させます。

2. 設定をします

「一般」の「起動」にある「起動時に最小化」部分にチェックを入れ

「OK」ボタンをクリックし設定を終了します。



3.「SoftBank 203HW Utility」の右上「×」をクリックして終了します。

《注意！》 203HW Utility の「ユーティリティ起動時自動接続」機能を ON にしないで下さい。
接続用ユーティリティ上での挙動と 203HW の挙動に相違が発生し、正常に動作しない場合があります。

【1―4―2. Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティのインストール】

「Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」をインストールします。

インストール方法は本書 P23「1－6. インストール手順」を参照し設定を行って下さい。

《注意！》 SoftBank 203HW は接続用ユーティリティバージョン「1.5.0.0」以上でご利用が可能です。
インストール後に「メニュー」をクリックし「バージョン情報」をクリックすることでバージョンを確認することができます。

203HW を定額料金プランでご利用の場合、以降の設定作業は不要です。

※定額料金プランでも接続ができない場合は、1－4－3. から1－4－5. の手順に従い設定を確認して下さい。

【1－4－3. 料金プラン毎の通信設定】

次の表を参照し、ご利用になる料金プランの接続設定を確認します。

モバイルゲートウェイをご利用の場合は、個別にご利用になる設定情報を確認して下さい。

料金プラン毎の接続設定

ご利用料金プラン	接続設定		
	APN	ユーザ名	パスワード
【定額料金プラン】 法人データ通信プランフラット(4G)	bizflat4g.softbank	biz4g	biz4g
【3G 従量料金プラン】 データバリューパックなどの従量料金プラン ※4G データ通信基本料の登録がある場合は上記定額料金プランの設定となります。	softbank	ai@softbank	softbank
【その他】 モバイルゲートウェイをご利用の場合	個別にご確認下さい。		

《注意！》 SoftBank 203HWには工場初期出荷状態で定額料金プラン用 APNが格納されています。
モバイルゲートウェイご利用を除き、通常は本設定の変更などは必要ありません。

《注意！》 3G 従量料金プラン APN を利用する場合、SoftBank 203HW Utility のネットワーク選択を「3G/GSM」または「3G」に設定して下さい。
4G が利用可能な従量プランをご契約の場合は、APN「softbank」へ変更を行うと接続ができなくなる場合があります。その場合は APN「bizflat4g.softbank」の設定を行って下さい。

【1－4－4. 接続先 APN の確認と設定】

1. 設定画面を開きます。

「Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」を起動します。

ご利用になる SoftBank 203HW をパソコンに挿入して「メニュー」から「APN 設定」をクリックします。

2. 接続先の APN を確認します。

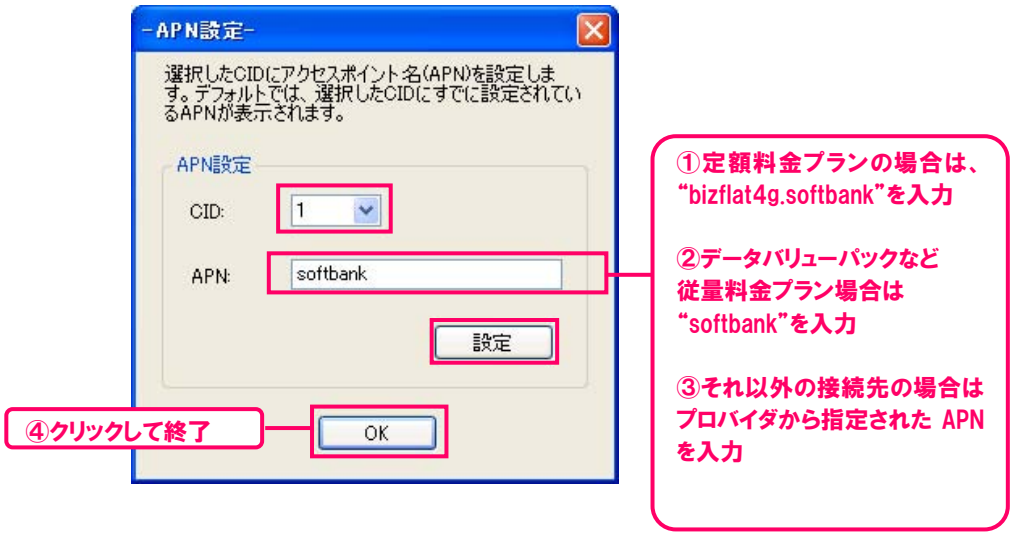
表示されている APN が、【1－4－3. 料金プラン毎の通信設定】で確認した APN と同じ場合は設定以降の3. ～5. の APN 設定作業は不要です。作業が不要な場合は「OK」ボタンをクリックして終了します。

3. 接続先の APN を設定します。

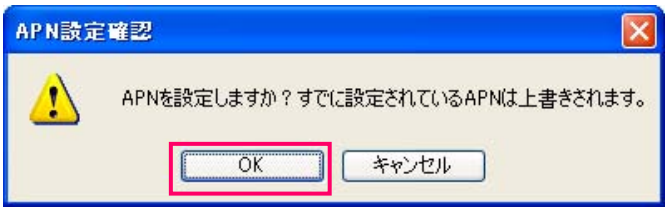
CID を「1」に設定し、【1－4－3. 料金プラン毎の通信設定】で確認したご利用料金プランの APN を「APN」に入力し「設定」ボタンをクリックします。

設定が完了したら「OK」ボタンをクリックして終了します。

※図はアクセスインターネットでの設定イメージです。



4. 設定の確認をします。
APN の設定を開始しますので「OK」をクリックします。



5. 書き込みが完了しました。
「OK」をクリックして APN 設定画面を終了します。

《注意！》 SoftBank 203HW で接続先限定設定を行い、APN の編集を禁止している場合は、
“APN の取得に失敗しました。”と表示され設定がされません。

《注意！》 定額料金プランをご利用の場合、定額料金プラン専用 APN（APN 名：bizflat4g.softbank）
以外の APN を設定されると通信料が従量課金となり請求額が高額となる場合がありますので、設定される APN には十分にご注意下さい。

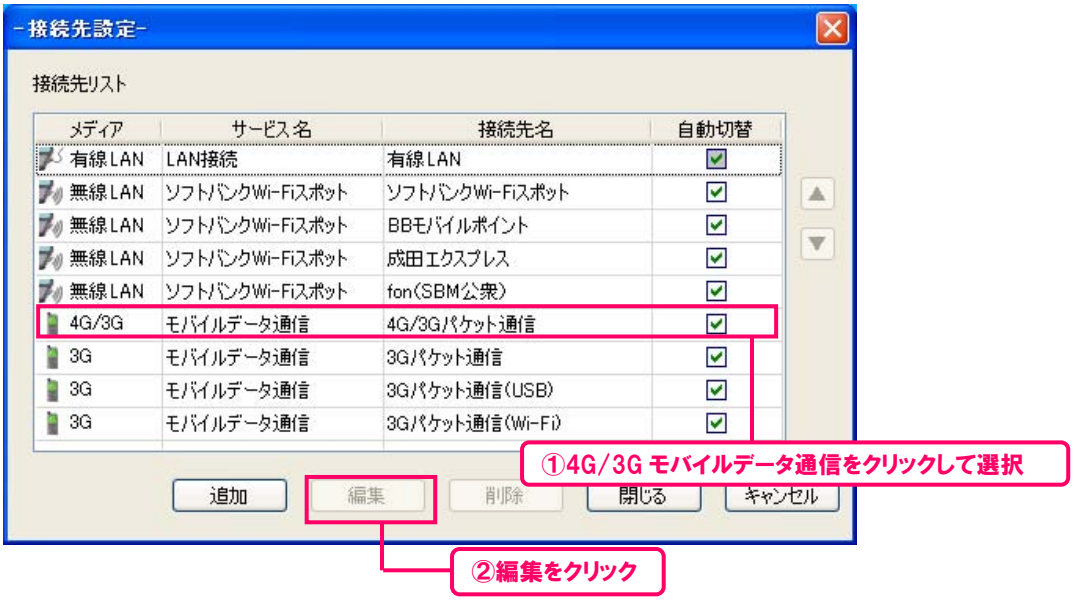
【1―4―5. 接続先アカウント情報の確認と設定】

1. 接続先編集画面を開きます。

「メニュー」から「接続先編集」をクリックします。

2. 接続先編集画面を開きます。

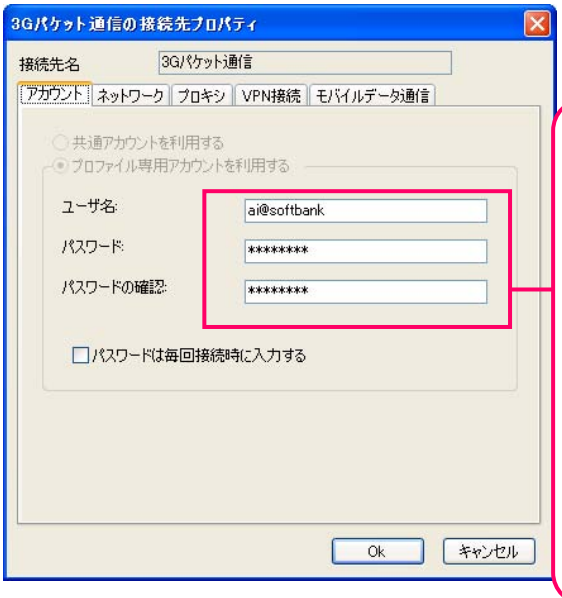
接続先リスト「4G/3G　モバイルデータ通信」を選択して「編集」をクリックします。



3. アカウント情報を変更します。

【1－4－3. 接続先設定の確認】で確認した、ご利用料金プランの接続設定を参考に「ユーザ名」と「パスワード」、「パスワードの確認」に入力し「OK」をクリックして終了します。

※図はアクセスインターネットでの設定イメージです。



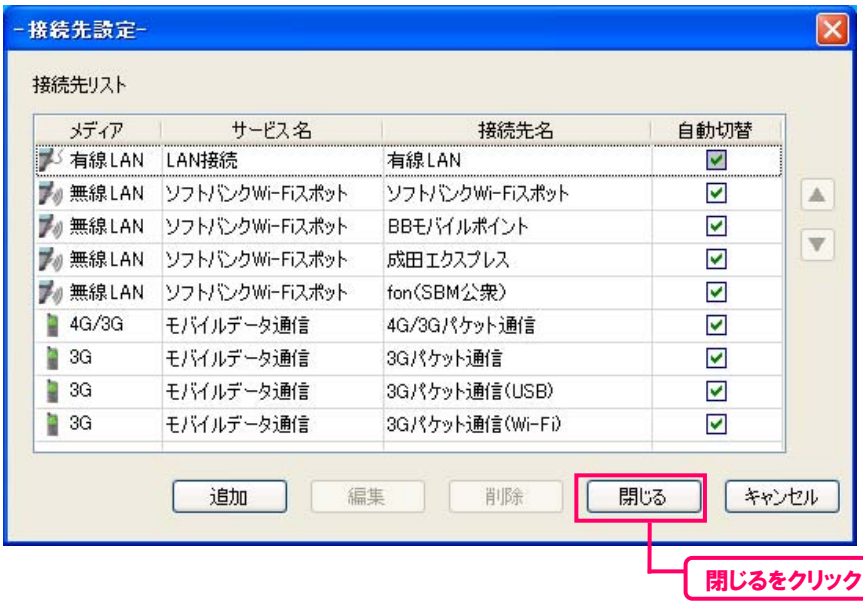
①定額料金プランの場合は以下を入力します。
ユーザ名“biz4g
パスワード“biz4g”

②データバリューパックなど従量料金プランの場合は以下を入力します。
ユーザ名“ai@softbank”
パスワード“softbank”

③それ以外の接続先の場合はプロバイダから指定されたユーザ名及びパスワードを入力します。

4. 接続先編集画面を終了します。

「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



閉じるをクリック

１－５. SoftBank 403ZT ご利用時の設定

【１－５－１. Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティのインストール】

「Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」をインストールします。

インストール方法は本書 P23「１－６. インストール手順」を参照し設定を行って下さい。

《注意！》SoftBank 403ZT は接続用ユーティリティバージョン「1.8.0.0」以上でご利用が可能です。インストール後に「メニュー」をクリックし「バージョン情報」をクリックすることでバージョンを確認することができます。

《注意！》 SoftBank 403ZT において、IPv6 通信は接続用ユーティリティバージョン「1.9.0.0」以上でご利用が可能です。インストール後に「メニュー」をクリックし「バージョン情報」をクリックすることでバージョンを確認することができます。

《注意！》403ZT Utility は自動起動 OFF の機能がありません。なお、接続用ユーティリティご利用中に 403ZT Utility で接続・切断等の操作をされた場合、接続用ユーティリティ上での挙動と 403ZT の挙動に相違が発生し、正常に動作しない場合があります。本サービスをご利用中は 403ZT Utility での操作はご遠慮下さい。

403ZT を定額料金プランでご利用の場合、以降の設定作業は不要です。

※定額料金プランでも接続ができない場合は、１－５－２. から１－５－４. の手順に従い設定を確認して下さい。

【１－５－２. 料金プラン毎の通信設定】

次の表を参照し、ご利用になる料金プランの接続設定を確認します。

モバイルゲートウェイをご利用の場合は、個別にご利用になる設定情報を確認して下さい。

料金プラン毎の接続設定

ご利用料金プラン	接続設定		
	APN	ユーザ名	パスワード
【定額料金プラン】※IPv4 接続時 法人データ通信プランフラット（4G/LTE） スマ放題　法人データプラン	bizflat4g.softbank	biz4g	biz4g
【定額料金プラン】※IPv6 接続時 法人データ通信プランフラット（4G/LTE） スマ放題　法人データプラン	bizflat4g-v6.softbank	biz4gv6	biz4gv6
【3G 従量料金プラン】 データバリューパックなどの従量料金プラン ※4G データ通信基本料の登録がある場合は上記定額料金プランの設定となります。	softbank	ai@softbank	softbank

ご利用料金プラン	接続設定		
	APN	ユーザ名	パスワード
【その他】 モバイルゲートウェイをご利用の場合	個別にご確認下さい。		

※bizflat4g-v6.softbank は、IPv4 通信の利用に加えて、IPv6 通信の利用が可能となります。本アクセスポイントでは、デュアルスタック(IPv4 と IPv6 とを共存させる技術)での提供となります。「SoftBank 403ZT」をご利用の場合のみ本アクセスポイントのご利用が可能となります。

※IPv6 アクセスポイントをご利用の場合でも、状況によっては IPv6 による通信ができない場合があります。(小型基地局などでは IPv4 接続となります。)

※IPv6 アクセスポイントを海外でご利用の場合、IPv6 アクセスポイントでは接続ができない場合があります。

《注意!》 SoftBank 403ZT には工場初期出荷状態で定額料金プラン用 APN が格納されています。モバイルゲートウェイご利用を除き、通常は本設定の変更などは必要ありません。

《注意!》 4G が利用可能な従量プランをご契約の場合は、APN「softbank」へ変更を行うと接続ができなくなる場合があります。その場合は APN「bizflat4g.softbank」または「bizflat4g-v6.softbank」の設定を行って下さい。

【1ー5ー3. 接続先 APN の確認と設定】

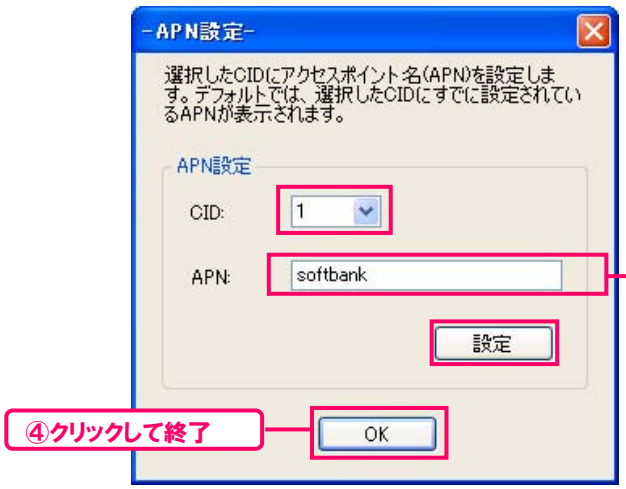
1. 設定画面を開きます。

「Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」を起動します。

ご利用になる SoftBank 403ZT をパソコンに挿入して「メニュー」から「APN 設定」をクリックします。

2. 接続先の APN を確認します。
表示されている APN が、【1－5－2. 料金プラン毎の通信設定】で確認した APN と同じ場合は設定以降の3. ～5. の APN 設定作業は不要です。作業が不要な場合は「OK」ボタンをクリックして終了します。

3. 接続先の APN を設定します。
CID を「1」に設定し、【1－5－2. 料金プラン毎の通信設定】で確認したご利用料金プランの APN を「APN」に入力し「設定」ボタンをクリックします。
設定が完了したら「OK」ボタンをクリックして終了します。
※図はアクセスインターネットでの設定イメージです。

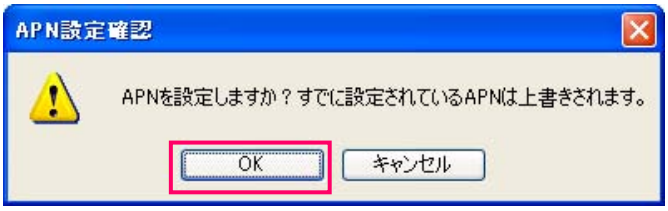


① 定額料金プランの場合は、“bizflat4g.softbank”または”bizflat4g-v6.softbank”を入力

② データバリューパックなど従量料金プランの場合は“softbank”を入力

③ それ以外の接続先の場合はプロバイダから指定された APN を入力

4. 設定の確認をします。
APN の設定を開始しますので「OK」をクリックします。



5. 書き込みが完了しました。
「OK」をクリックして APN 設定画面を終了します。

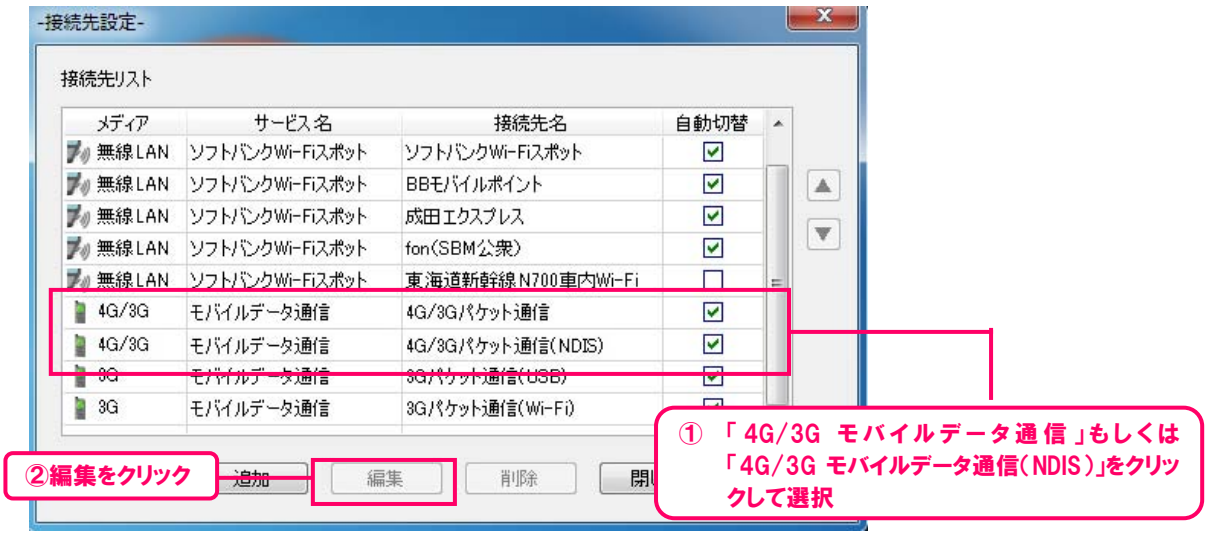
《注意！》 SoftBank 403ZT で接続先限定設定を行い、APN の編集を禁止している場合は、
“APN の取得に失敗しました。”と表示され設定がされません。

《注意！》 定額料金プランをご利用の場合、定額料金プラン専用 APN
以外の APN を設定されると通信料が従量課金となり請求額が高額となる場合がありますので、設定される APN には十分にご注意下さい。

【1－5－4. 接続先アカウント情報の確認と設定】

1. 接続先編集画面を開きます。
「メニュー」から「接続先編集」をクリックします。

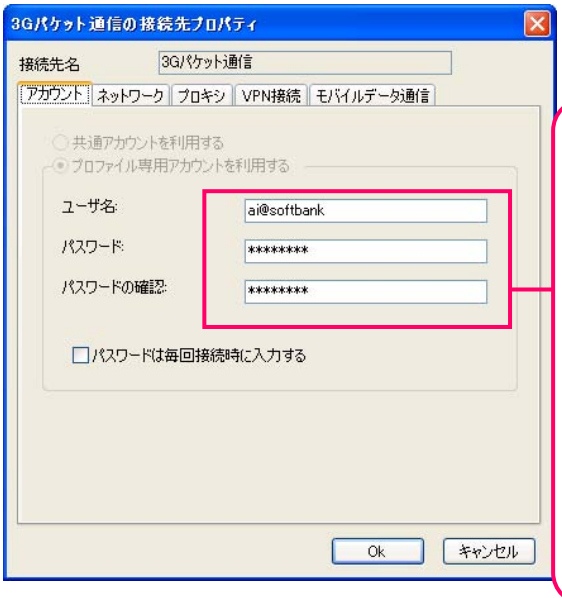
2. 接続先編集画面を開きます。
接続先リストを選択して「編集」をクリックします。



3. アカウント情報を変更します。

【1－5－2. 接続先設定の確認】で確認した、ご利用料金プランの接続設定を参考に「ユーザ名」と「パスワード」、「パスワードの確認」に入力し「OK」をクリックして終了します。

※図はアクセスインターネットでの設定イメージです。



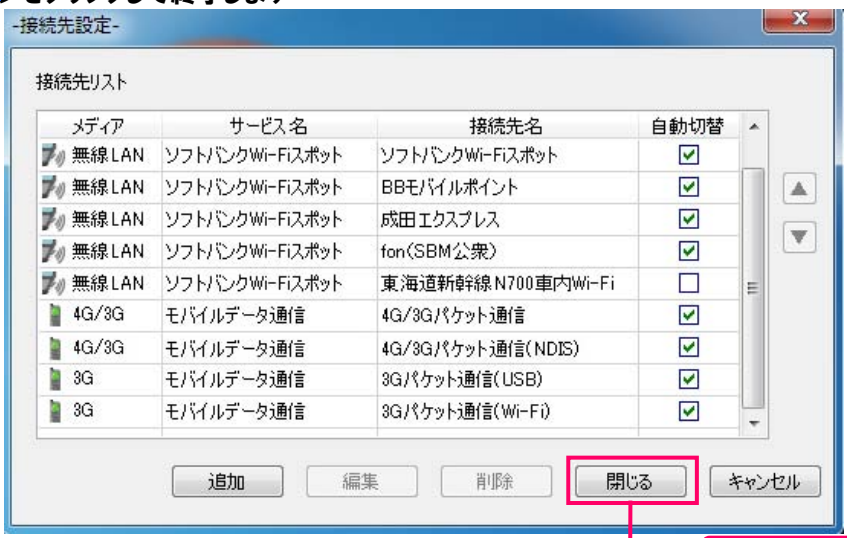
①定額料金プランの場合は以下を入力します。
ユーザ名“biz4g”または”biz4gv6”
パスワード“biz4g”または”biz4gv6”

②データバリューパックなど従量料金プランの場合は以下を入力します。
ユーザ名“ai@softbank”
パスワード“softbank”

③それ以外の接続先の場合はプロバイダから指定されたユーザ名及びパスワードを入力します。

4. 接続先編集画面を終了します。

「閉じる」ボタンをクリックして終了します



閉じるをクリック

１－６．インストール手順

【１－６－１．接続用ユーティリティのダウンロード】

接続用ユーティリティは当社が別途ご用意させていただく専用ダウンロードサイトより取得頂く必要があります。以下の手順で取得することができます。

１．接続用ユーティリティのダウンロード

接続用ユーティリティを以下のサイトよりダウンロードします。

https://bizdownload.mb.softbank.jp/WiFiAccessUtility/agreement.html

- ダウンロード時には認証情報が必要です

  電話番号：対象モバイルデータ通信端末の電話番号

  暗証番号：交換機暗証番号　※ご契約時に指定していただく 4 桁の数字

《注意！》 ユーザー認証に連続で 5 回失敗した場合、アカウントがロックされます。ロックされたアカウントは、翌日の午前 0 時より順次解除されるまでご利用いただけません。
また、ダウンロードに 4G/3G 回線を使用された場合、請求金額が高額になる恐れがありますのでご注意下さい。

【１－６－２．接続用ソフトウェアのインストール　for Windows 8/Windows 8.1】

Windows 8/Windows 8.1 に接続用ユーティリティをインストールする場合の手順を説明します。
（Windows8 は接続用ユーティリティバージョン「1.5.0.0」以上、Windows8.1 は接続用ユーティリティバージョン「1.6.0.0」以上で対応しています）

１．はじめに

始めにすべてのプログラムを終了させてください。終了させない場合、作業中のデータが失われることがあります。以前のバージョンの接続用ユーティリティをご利用の場合は、必ずアンインストールを行った後にインストールを行ってください

２．セットアッププログラムの起動

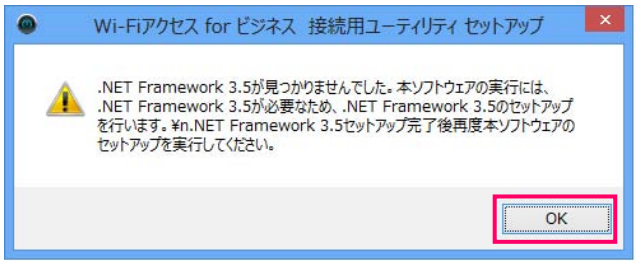
ダウンロードしたセットアッププログラムをダブルクリックして起動します。
※「ユーザアカウント制御」というウインドウが表示された場合、「許可」を選択してください。

3.「.NET Framework」のインストール（必要な場合のみ）

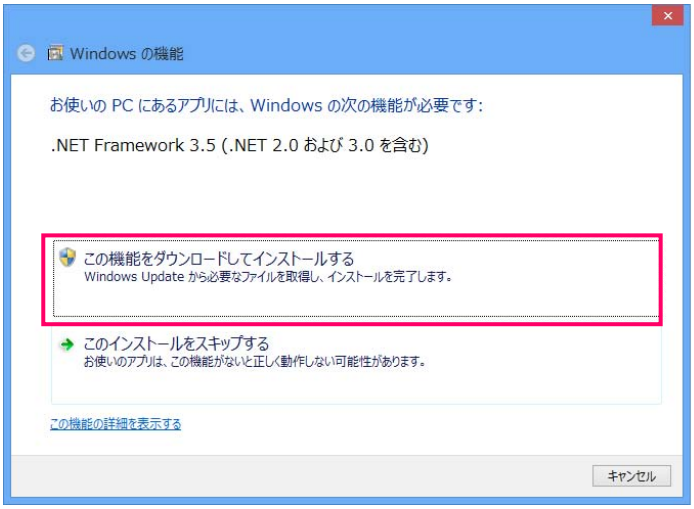
ご利用の PC で「.NET Framework 3.5」がインストールされていない場合には、「.NET Framework 3.5」セットアップのために次のメッセージが表示されます。「OK」を押すと「.NET Framework 3.5」のセットアップを起動して、本ツールのセットアッププログラムは終了します。

「.NET Framework 3.5」のセットアップ完了後、再度本ツールのセットアップを実行してください。

《情報》 既に「.NET Framework3.5」インストール済みの場合には、この処理はスキップされます。

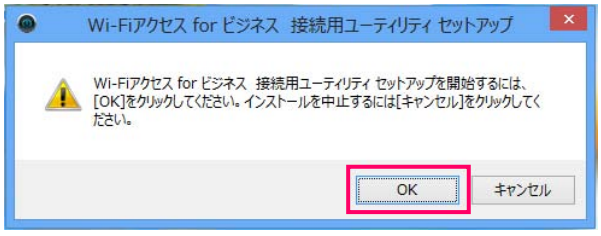

Wi-Fiアクセス for ビジネス 接続用ユーティリティ セットアップ
.NET Framework 3.5が見つかりませんでした。本ソフトウェアの実行には、.NET Framework 3.5が必要なため、.NET Framework 3.5のセットアップを行います。¥n.NET Framework 3.5セットアップ完了後再度本ソフトウェアのセットアップを実行してください。
OK

a. 次のウインドウが表示されたら、指示に従って「.NET Framework 3.5」をセットアップしてください。



4. セットアップの開始

「OK」を押してセットアップを開始します。

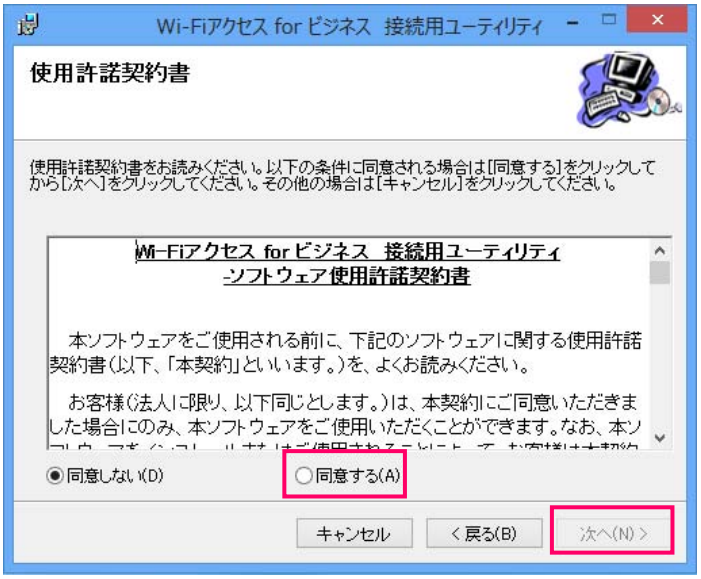


5.「Wi-Fi アクセス for ビジネス 接続用ユーティリティ」のインストール

「次へ」を押してセットアップウィザードを開始します。

6. ソフトウェア使用許諾契約に同意します。

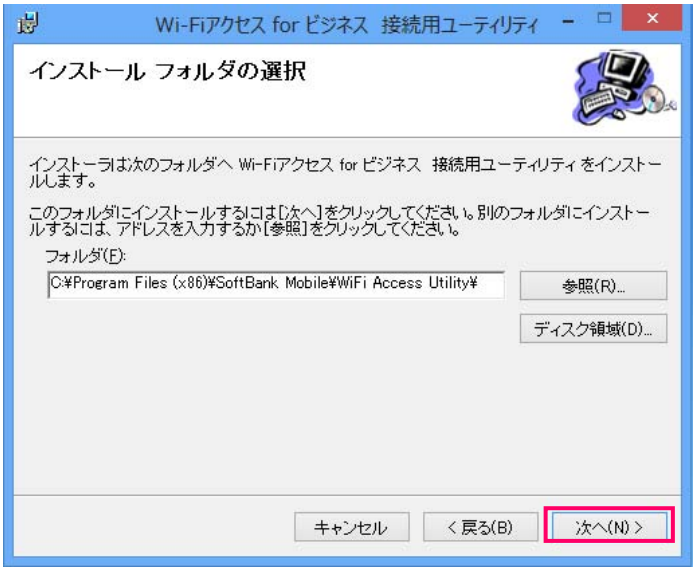
ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認の上で「同意する」をチェックし、「次へ」を押します。



7. インストールフォルダを指定します。

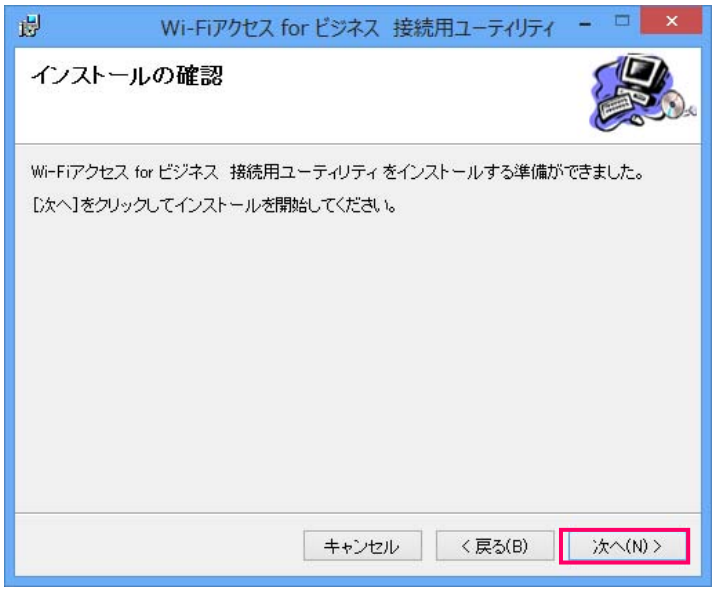
インストールするフォルダを指定し「次へ」を押します。

※デフォルトのままでよい場合には、そのまま「次へ」を押してください。



8. インストールの確認をします。

「次へ」を押してインストールを開始します。



9. インストールが完了しました。

「閉じる」ボタンを押してインストール作業を完了します。

【1－6－3. 接続用ソフトウェアのインストール for Windows Vista/Windows 7】

Windows Vista/Windows 7 に接続用ユーティリティをインストールする場合の手順を説明します。

1. はじめに

始めにすべてのプログラムを終了させてください。終了させない場合、作業中のデータが失われることがあります。以前のバージョンの接続用ユーティリティをご利用の場合は、必ずアンインストールを行った後にインストールを行ってください

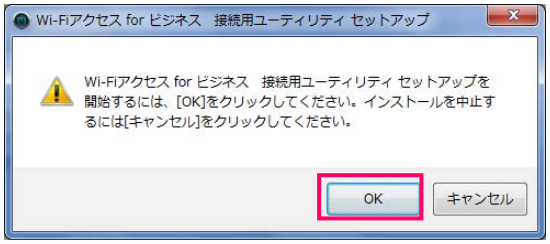
2. セットアッププログラムの起動

ダウンロードしたセットアッププログラムをダブルクリックして起動します。

※「ユーザアカウント制御」というウインドウが表示された場合、「許可」を選択してください。

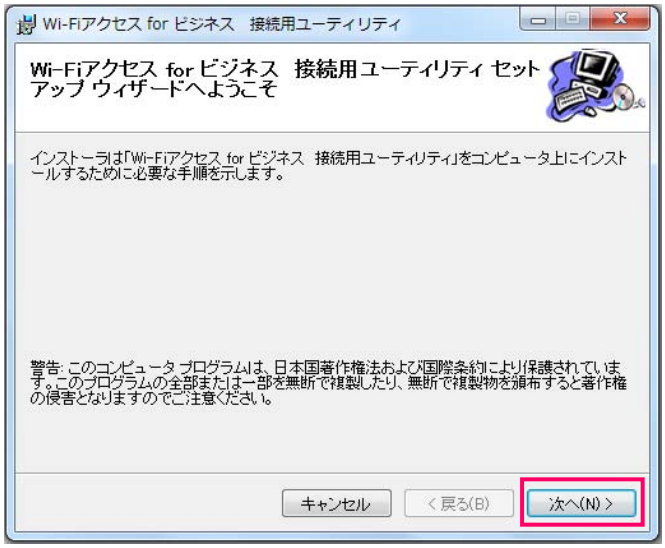
3. セットアップの開始

「OK」を押してセットアップを開始します。



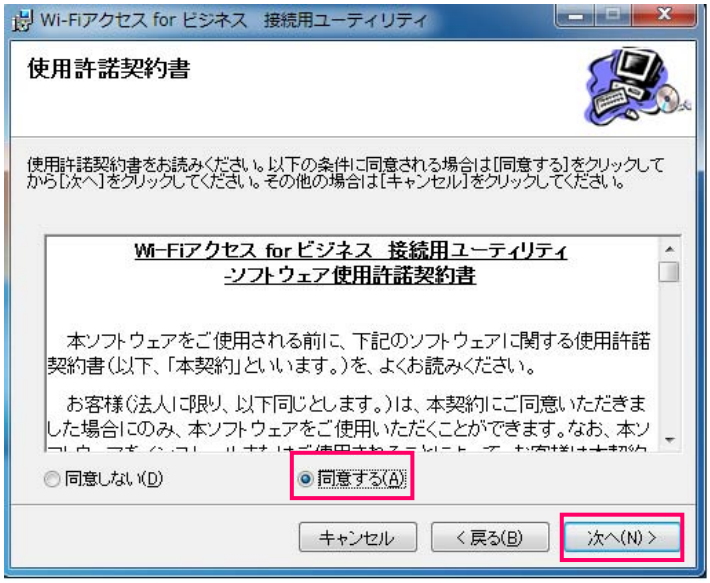
4.「Wi-Fi アクセス for ビジネス 接続用ユーティリティ」のインストール

「次へ」を押してセットアップウィザードを開始します。



5. ソフトウェア使用許諾契約に同意します。

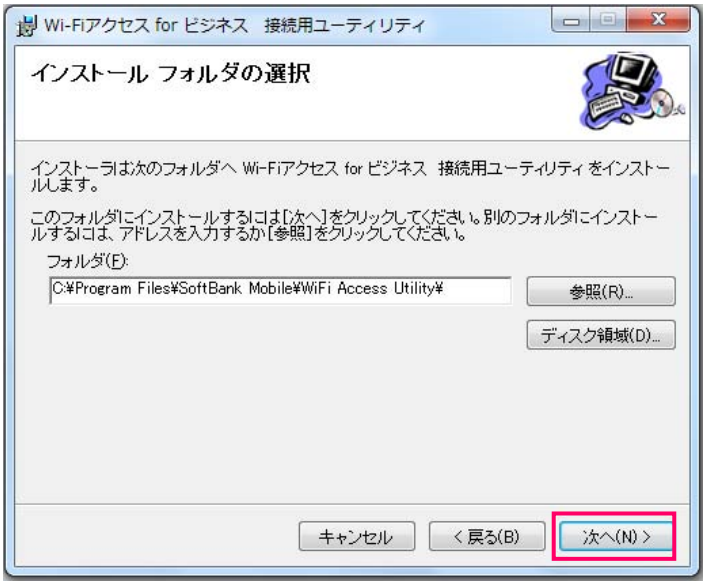
ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認の上で「同意する」をチェックし、「次へ」を押します。



6. インストールフォルダを指定します。

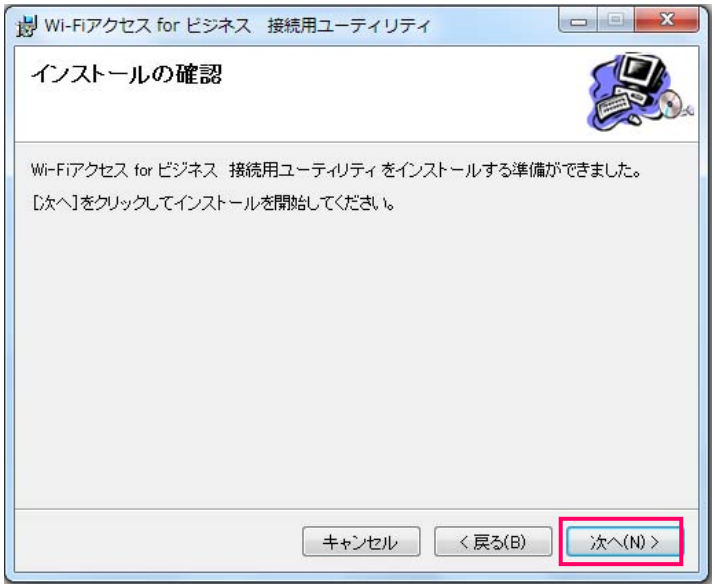
インストールするフォルダを指定し「次へ」を押します。

※デフォルトのままでよい場合には、そのまま「次へ」を押してください。



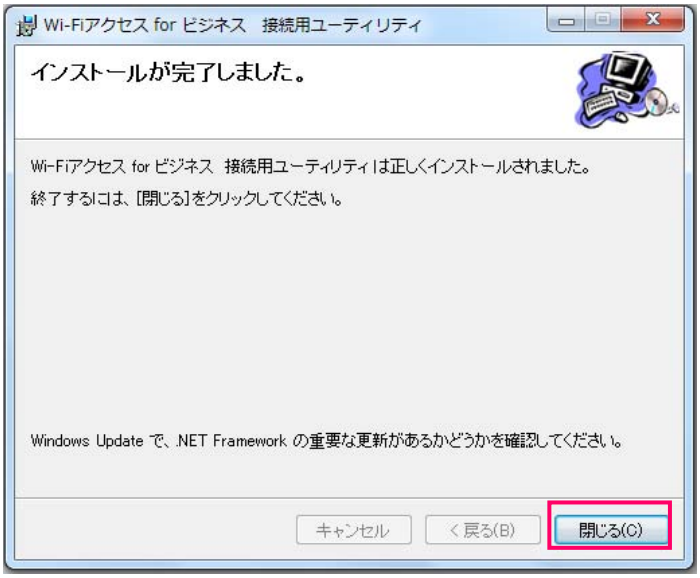
7. インストールの確認をします。

「次へ」を押してインストールを開始します。



8. インストールが完了しました。

「閉じる」ボタンを押してインストール作業を完了します。



【1－6－4. 接続用ソフトウェアのインストール　for Windows XP】

Windows XP に接続用ユーティリティをインストールする場合の手順を説明します。

1. はじめに

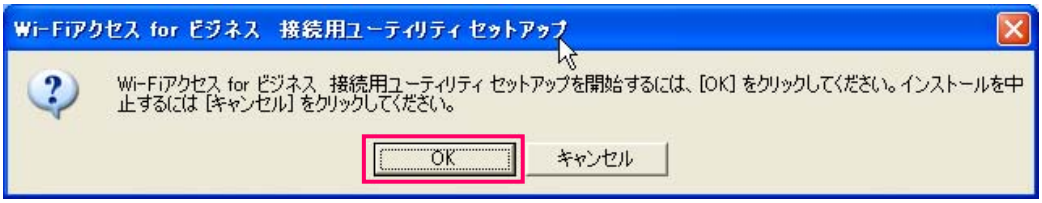
始めにすべてのプログラムを終了させてください。終了させない場合、作業中のデータが失われることがあります。以前のバージョンの接続用ユーティリティをご利用の場合は、必ずアンインストールを行った後にインストールを行ってください

2. セットアッププログラムの起動

ダウンロードしたセットアッププログラムをダブルクリックして起動します。

3. セットアップの開始

「OK」を押してセットアップを開始します。



4.「.NET Framework」のインストール（必要な場合のみ）

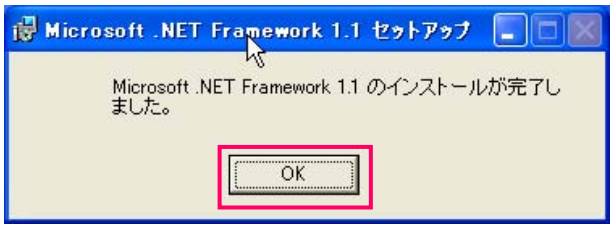
ご利用のPCで「.NET Framework」がインストールされていない場合には、「.NET Framework」のインストールが開始されます。（インストールしない場合は P21 ５「Wi-Fi アクセス for ビジネス接続用ユーティリティ」のインストール」から作業を行います。）

《情報》 既に「.NET Framework」をインストール済みの場合、この処理はスキップされます。

a. 次のウインドウが表示されたら、「はい」を選択してインストール開始します。

b.「Microsoft .NET Framework 1.1」の使用許諾契約に同意し、「インストール」を押します。

c. インストールが完了したら「OK」を押します。



d. 次のウインドウが表示されたら、「はい」を選択してインストール開始します。

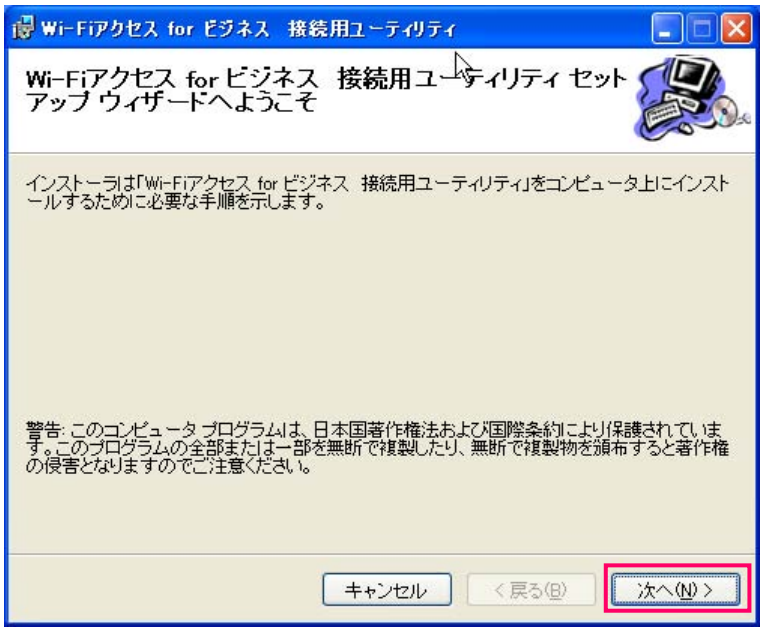
e. 使用許諾契約を確認し、「同意する」を押します。

f. インストールが完了したら「OK」を押します。

《注意！》「.NET Freamework」のインストールを行った場合は、インストール作業完了後に
パソコンの再起動を行って下さい。再起動を行わない場合は接続用ユーティリティから
モバイルデータ通信端末を認識できない場合があります。

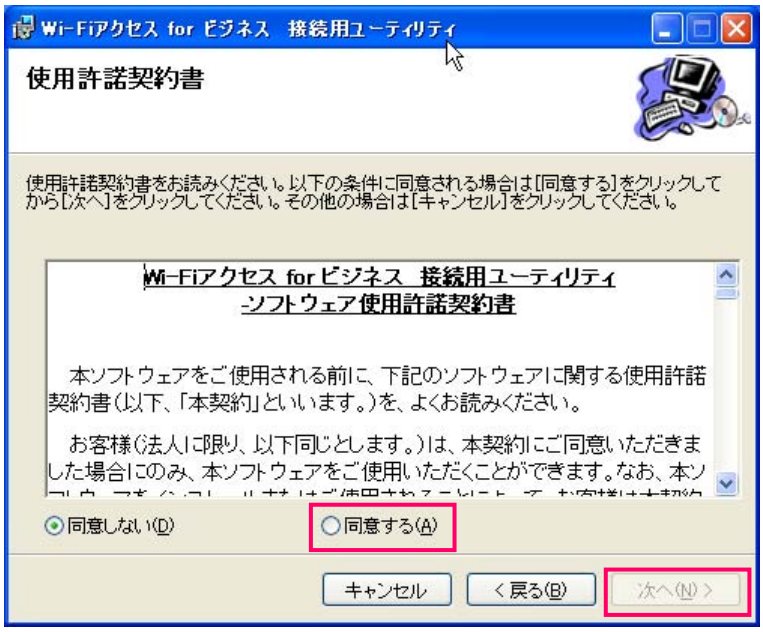
5.「Wi-Fi アクセス for ビジネス 接続用ユーティリティ」のインストール

「次へ」を押してセットアップウィザードを開始します。



6. ソフトウェア使用許諾契約に同意します。

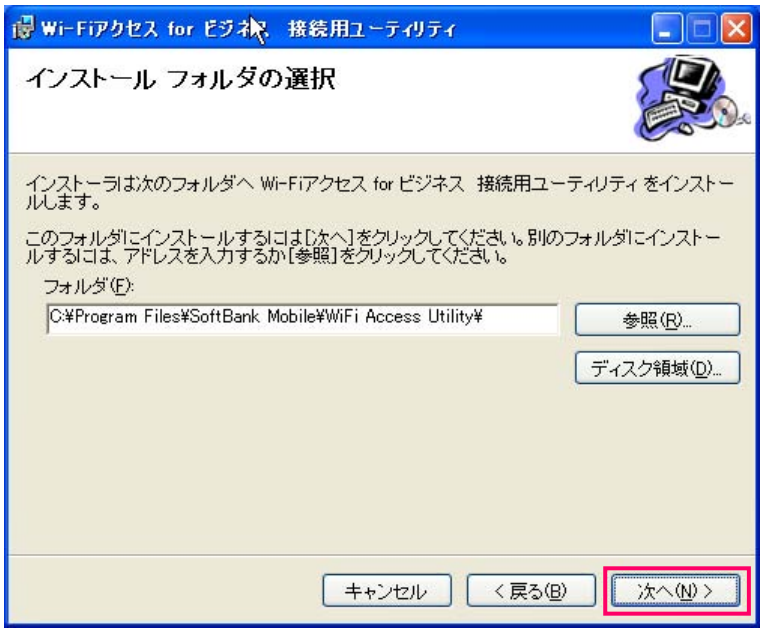
ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認の上で「同意する」をチェックし、「次へ」を押します。



7. インストールフォルダを指定します。

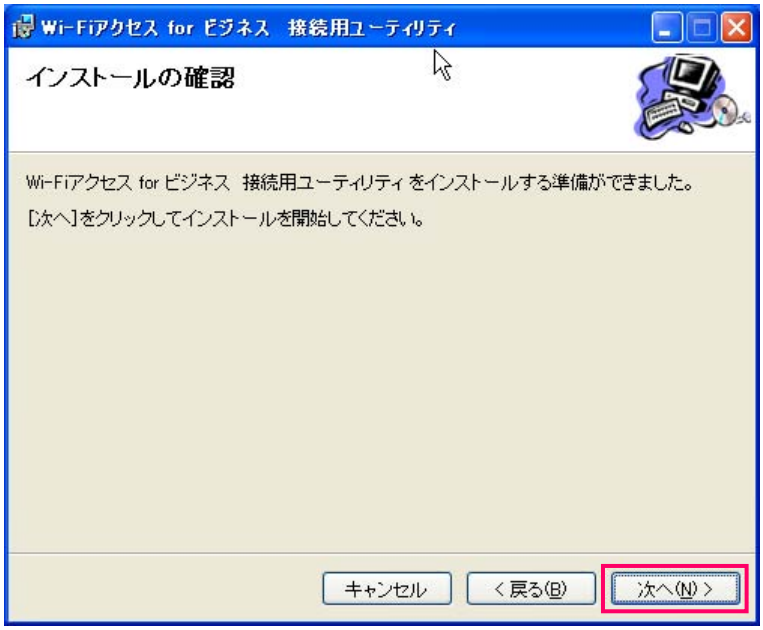
インストールするフォルダを指定し「次へ」を押します。

※デフォルトのままでよい場合には、そのまま「次へ」を押してください。



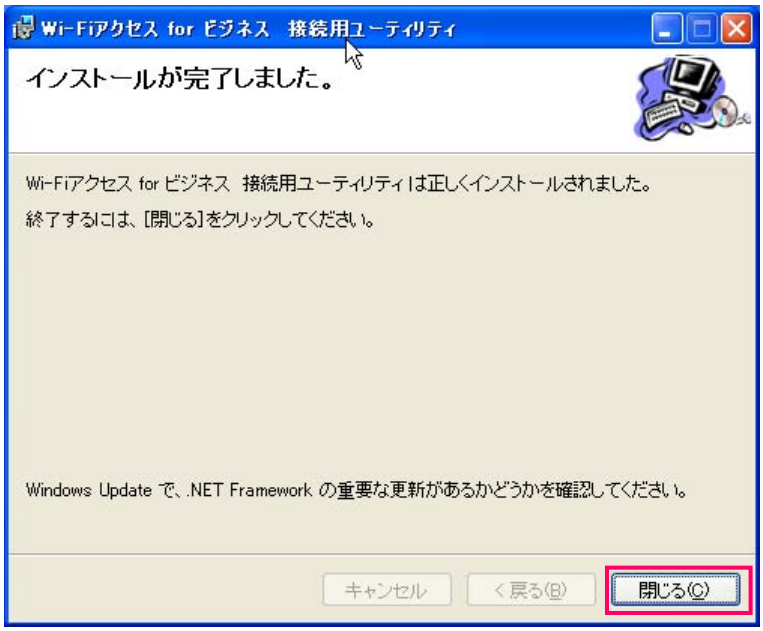
8. インストールの確認をします。

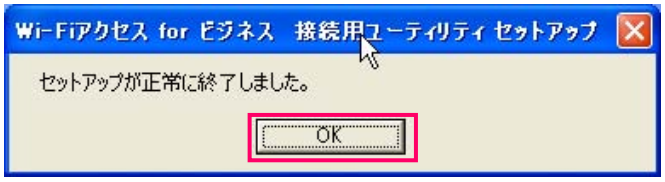
「次へ」を押してインストールを開始します。



9. インストールが完了しました。

「閉じる」ボタンを押した後「OK」ボタンを押してインストール作業を完了します。





１－７．初回起動時の設定

【１－７－１．接続用ソフトウェアの起動】

インストールが完了したら、接続用ユーティリティを起動し初期設定を行います。

１．接続用ユーティリティの起動

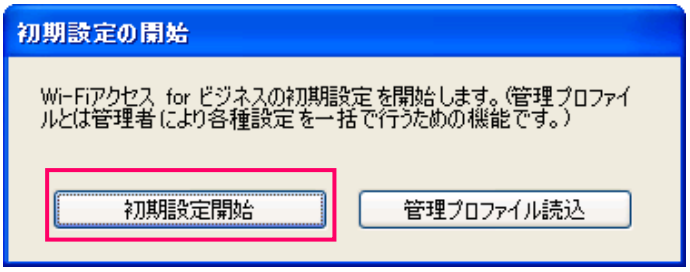
インストール後に作成された「Wi-Fi アクセス　for ビジネス接続用ユーティリティ」をダブルクリックして起動します。

２．初期設定の開始

「初期設定開始」をクリックして接続用ユーティリティをご利用いただく為の作業を開始します。

管理者から管理プロファイルが配布されている場合は、「管理プロファイル読込」をクリックし読み込んで下さい。

（管理プロファイルとは管理者により各種設定を一括で行う為の機能です。）

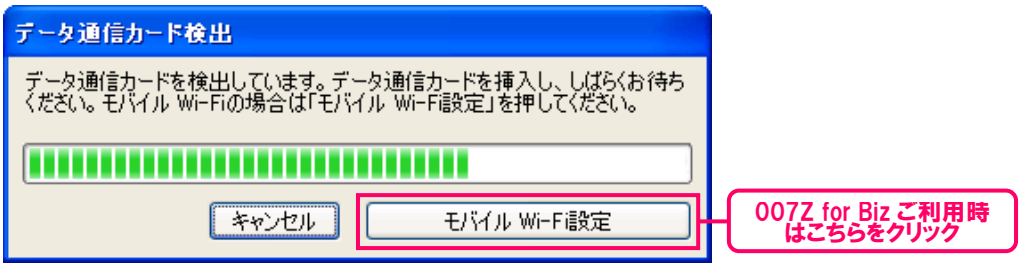


３．対象モバイルデータ通信端末をパソコンに挿入します。

サービスに加入済みの USIM を挿入した対象モバイルデータ通信端末をパソコンに接続します。

SoftBank 007Z for Biz をご利用の場合は「モバイル　Wi-Fi 設定」をクリックします。

※403ZT、203HW、004Z、C02SW、C02SW、C01SI をご利用のお客様は 6.へ進みます

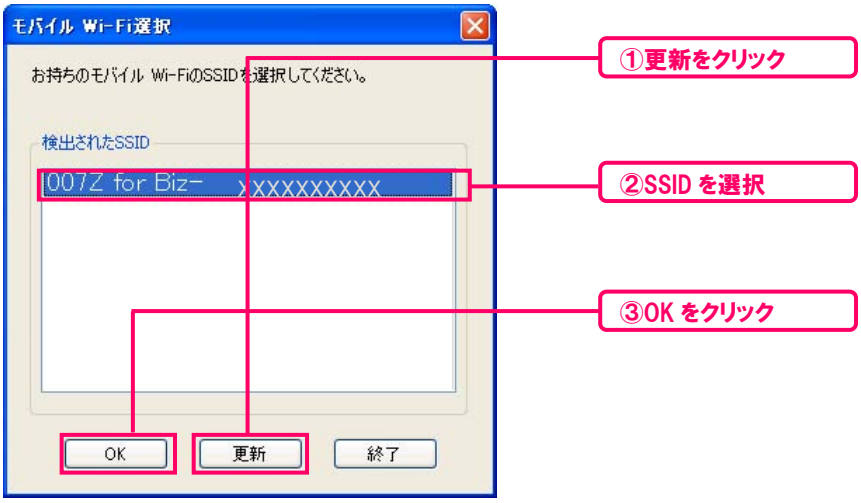


《注意》 対象モバイルデータ通信端末はパソコンに挿入してから検出されるまで時間が掛かる場合があります。また、SoftBank 007Z for Biz は SSID のブロードキャスト設定が「OFF」になっている場合は、SSID が検出できません。１－３－２．の手順を参照し設定を変更して下さい。「キャンセル」ボタンを押した場合は、初期設定を中断しアプリケーションを終了します。

4. モバイル Wi-Fi の検出を行います。 SoftBank 007Z for Biz のみ

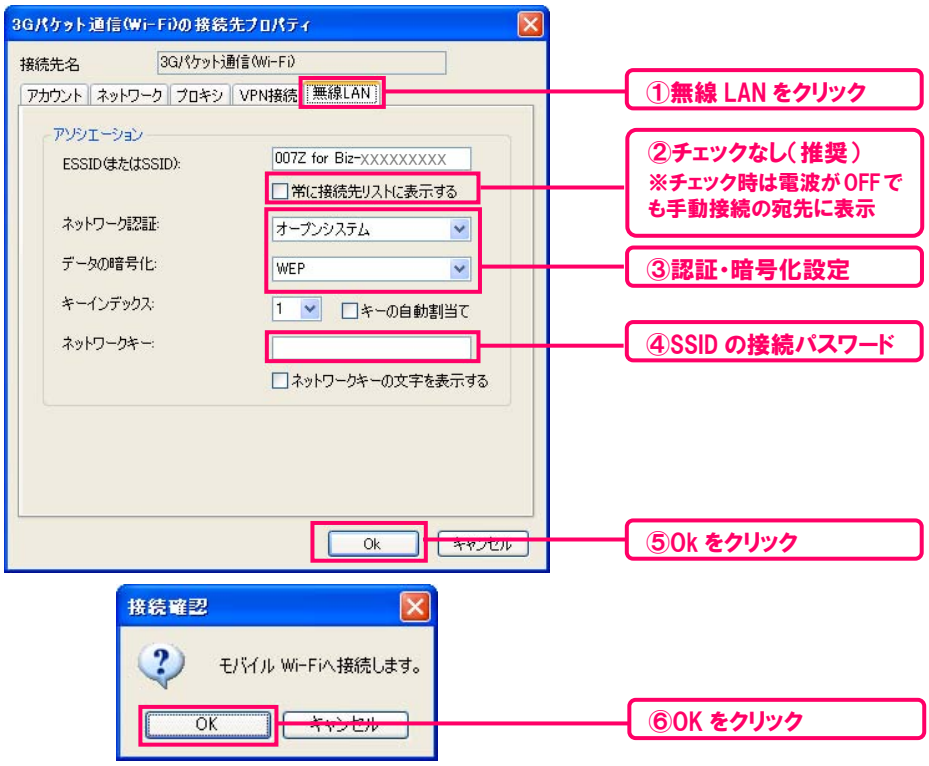
SoftBank 007Z for Biz の電源を ON にして「更新」をクリックして下さい。

ご利用になる SoftBank 007Z for Biz の SSID が表示されたら、選択し「OK」をクリックします。



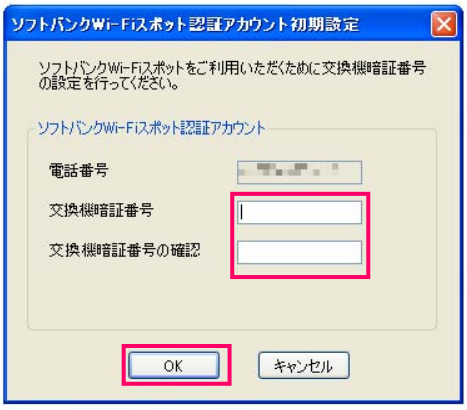
5. モバイル Wi-Fi の接続を行います。 SoftBank 007Z for Biz のみ

無線 LAN 設定タブをクリックし、SoftBank 007Z for Biz に設定されている SSID の接続設定（工場出荷時設定では「ネットワークキー」が IMEI の下 5 桁）、ネットワークキー（接続パスワード。工場出荷時設定のパスワードは端末に同梱されているシールをご確認下さい）を入力して「OK」をクリックします。接続確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。



6. ソフトバンク Wi-Fi スポットの初期設定を行います。

ご利用になる回線の交換機暗証番号を入力し「OK」を押すと初期設定が完了します。



《注意！》 交換機暗証番号は、お客さまがご契約時に指定する4桁の数字です。初期設定時は間違った交換機暗証番号を入力しても登録が完了しますが、ソフトバンクWi-Fiスポットの接続時に認証が失敗します。間違った交換機暗証番号を登録してしまった場合は、「メニュー」→「設定」→「アプリケーション管理」→「データ通信カード設定を初期化する」を行い登録された情報を削除し、再度初期設定を行う必要があります。

《注意！》 必ず電話番号が書き込まれているUSIMを使用してください。電話番号の書き込まれていないUSIMを使用した場合は、起動時に認証が失敗します。下記の画面が表示される場合、使用しているUSIMに電話番号が書き込まれていません。画面の内容をご確認いただきUSIMに電話番号の書き込みを行う必要があります。

2. 接続用ユーティリティの基本的な使い方

2－1. 画面表示

接続用ユーティリティの画面表示について説明します。

【2－1－1. メイン画面】

Wi-Fi アクセス for ビジネスで利用する接続用ユーティリティの画面表示についてご説明します。

①接続・切断ボタン

選択された接続先に対して接続および切断を行います。

②メニューボタン

設定やデバイス情報画面、ヘルプなどを表示するためのメニューボタンです。メニューボタンをクリックすると次のコンテキストメニューが表示されます。

③スキャンボタン

ネットワークの検索は、自動で行われますが、このボタンを押すことで任意のタイミングでネットワーク検索を行って、利用可能な接続先を更新することができます。

④　切替ボタン

複数の接続先が利用可能な場合、このメニューから接続先の選択リストが表示されます。

⑤メインステータス表示

アプリケーションの動作状態や接続状態など各種のステータスが表示されます。メッセージが表示しきれない場合には文字がスクロールします。

⑥アンテナ表示

無線通信の場合には、現在選択されている接続先の無線状態が表示されます。

電波状態は非常に良好です。

電波状態は良好です。

電波状態はあまり良くありません。

電波状態が非常に微弱もしくは、電波状態を未取得の状態です。

メインステータス表示	通信メディア表示	表示内容
有線 LAN	有線 LAN	有線 LAN アイコンになります。
ソフトバンク Wi-Fi スポット	無線 LAN	ソフトバンク Wi-Fi スポットを含む公衆無線 LAN 接続の電波状態を表示します。
BB モバイルポイント	無線 LAN	
成田エクスプレス	無線 LAN	
fon (SBM 公衆)	無線 LAN	
東海道新幹線 N700 車内 Wi-Fi	無線 LAN	
4G/3G パケット通信	4G/3G	4G/3G 対応端末の 4G または 3G の電波状態を表示します。
4G/3G パケット通信(NDIS)	4G/3G	4G/3G 対応端末の 4G または 3G の電波状態を表示します。本プロファイルを選択時 403ZT の場合のみ NDIS 接続がされます。
3G パケット通信	3G	3G 対応(4G 非対応)端末の 3G の電波状態を表示します。
3G パケット通信 (USB)	3G	有線 LAN アイコンになります。
3G パケット通信 (Wi-Fi)	3G	データ通信端末との無線 LAN 接続の電波状態を表示します。(3G の電波状態ではありません)

《情報》 アンテナ表示は接続の種類により基準が異なりますのであくまで目安としてご利用ください。

⑦接続ステータス

ネットワークへの接続状態に応じて表示状態が切り替わります。

⑧通信メディア表示

現在選択されている接続先の種別が表示されます。

⑨接続時間表示

現在の接続中の接続先の接続時間がリアルタイムで表示されます。

⑩アプリケーション最小化・終了ボタン

左のボタンを押すと画面の最小化、右のボタンを押すと接続用ユーティリティが終了となります。

⑪モバイルデータ通信端末検出アイコン

利用可能な対象モバイルデータ通信端末を検出すると表示されます。4G/3G 対応端末では「4G/3G」、3G 対応(4G 非対応)端末では「3G」と表示されます。なお、アイコンが非表示の場合には、4G ならびに 3G パケット通信、ソフトバンク Wi-Fi スポットは利用できません。

⑫ソフトバンク Wi-Fi スポット検出アイコン

ソフトバンク Wi-Fi スポットの無線 LAN 電波を検出すると表示されます。対象モバイルデータ通信端末が接続されないと、ソフトバンク Wi-Fi スポットへの接続はできません。

2－2. 接続の手順

接続用ユーティリティを利用して通信を行う方法をご説明します。

《注意！》 有線 LAN 接続の IP アドレス取得設定を固定アドレスに設定している場合は、そのまま有線 LAN 接続を行なうと、ユーティリティの設定により IP アドレス取得設定が自動取得に変更されます。P48 の接続先の編集手順を参照し、「ネットワーク」から固定アドレスの設定を行って下さい。（ユーザー権限の場合はこの限りではありません。）

《情報》 接続用ユーティリティを初めてインストールした場合は、有効な通信を検出後に自動的に接続動作を行う設定となっています。接続の確認画面が表示されますので、通信を行わない場合は「いいえ」を押して下さい

【2―2―1. 自動接続について】

接続用ユーティリティを起動させます。起動後、初期設定時に利用した対象モバイルデータ通信端末を挿入します。（007Z for Biz の場合は、端末の電源投入後、Wi-Fi 接続または USB 接続を行います）

USIM についても初期設定時に利用したものを対象モバイルデータ通信端末へ挿入して下さい。

自動接続の設定がされている場合は、自動で接続を検出し接続をします。

初期設定では接続を検出した時点でポップアップを表示し確認します。

《情報》 4G/3G パケット通信または 3G パケット通信の接続確認以外のポップアップは省略することができます。P53【3－2－4. 接続・切替タブの設定】をご参照下さい

《注意！》【2―2―1. 自動接続について】、次項【2―2―2. 手動接続について】での接続中に対象モバイルデータ通信端末を抜去（007Z for Bizでは、Wi-Fi切断（スリープによるWi-Fi切断含む）またはUSB接続を抜去）された場合、ソフトバンクWi-Fiスポット無線LAN電波が切断されます（ソフトバンクWi-Fiスポットご利用中でも切断されます）。引き続き、ソフトバンクWi-Fiスポットをご利用の場合は、再度初期設定時に利用した対象モバイルデータ通信端末を挿入（007Z for Bizでは、端末の電源投入、またはスリープ等から復帰後、再度Wi-Fi接続またはUSB接続）していただくことで、ご利用が可能となります。

【2―2―2. 手動接続について】

接続用ユーティリティを起動させます。起動後、初期設定時に利用したデータ通信端末を挿入します。（007Z for Biz の場合は、端末の電源投入後、Wi-Fi 接続または USB 接続を行います）
USIM についても初期設定時に利用したものをデータ通信端末へ挿入して下さい。

1. 接続用ユーティリティの「切替」ボタンを押して、ご利用になる接続を選択します。

※ここではソフトバンク Wi-Fi スポットに接続しないで4G/3G パケット通信を行う方法で解説します。既に通信をしたい接続先が選択されている場合は2. から接続を行います。

2. 表示がご利用になる接続になった事を確認して「接続」ボタンを押します。

3. 通信が終了したら「切断」ボタンを押して接続を終了します。

3. 接続用ユーティリティの設定方法

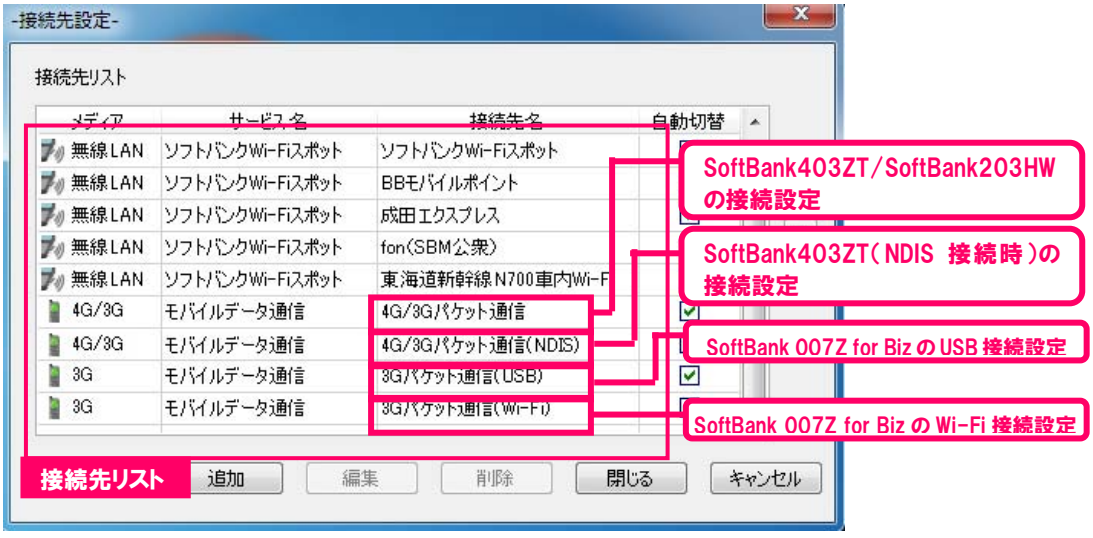
3－1. 接続先設定

接続用ユーティリティで通信が可能な接続先の設定を行います。

【3－1－1. 設定画面の表示方法】

1. 接続用ユーティリティから「メニュー」を押して表示される「接続先編集」をクリックします。

2. 接続先リストが表示されます。



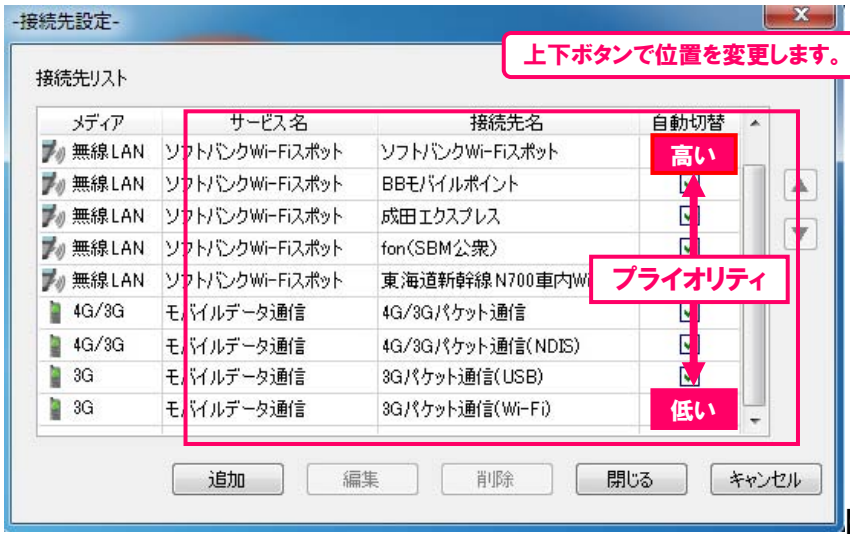
《情報》 自動接続の機能

は、この接続リストの上から順番に優先順位を割り当てて接続されます。

2012年3月31日をもって成田国際空港のローミングサービスは終了となりました。

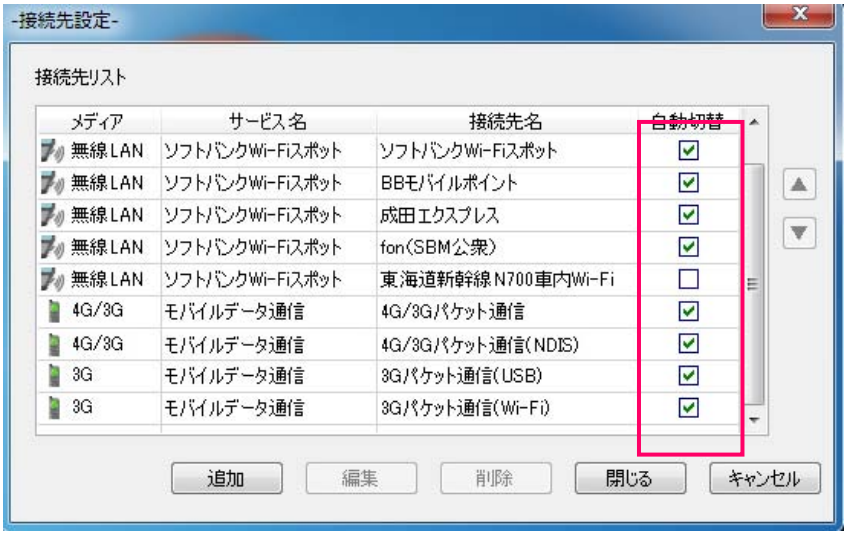
【3－1－2. 接続先プライオリティの変更】

プライオリティを変更したい接続先を選択し、右側にある▲▼ボタンを押して変更します。



【3－1－3. 自動切替えの設定】

接続先リストの「自動切替」にチェックがされている場合は、接続を検出後、自動的に接続を行います。グレーアウトしている項目は設定を変更することができません。



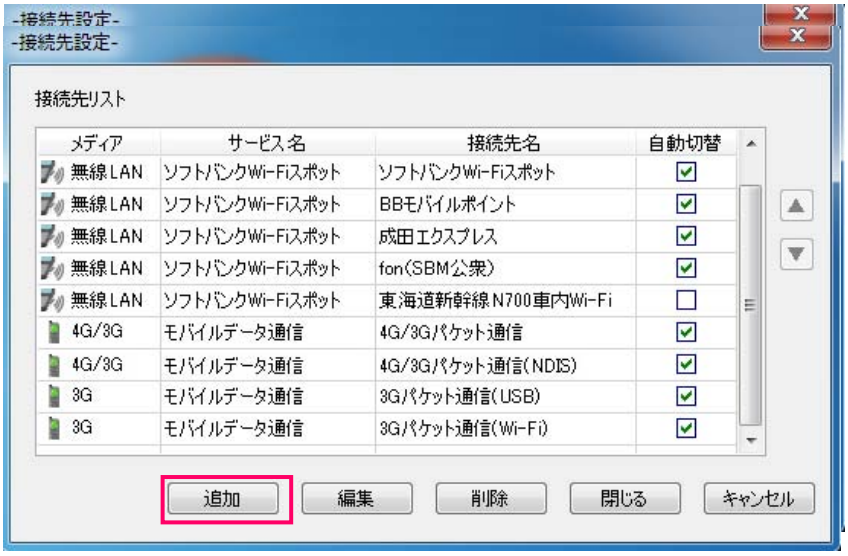
《注意！》「東海道新幹線N700車内Wi-Fi」の自動切替のデフォルトはチェックオフとなっています。
自動切替の対象としたい場合、チェックオンに変更してください。

《注意！》 接続先リストの「東海道新幹線N700社内Wi-Fi」を利用しての東海道新幹線（東京から新大阪・N700系）車内エリアへの接続は、1．7．0．1以上をご利用ください。

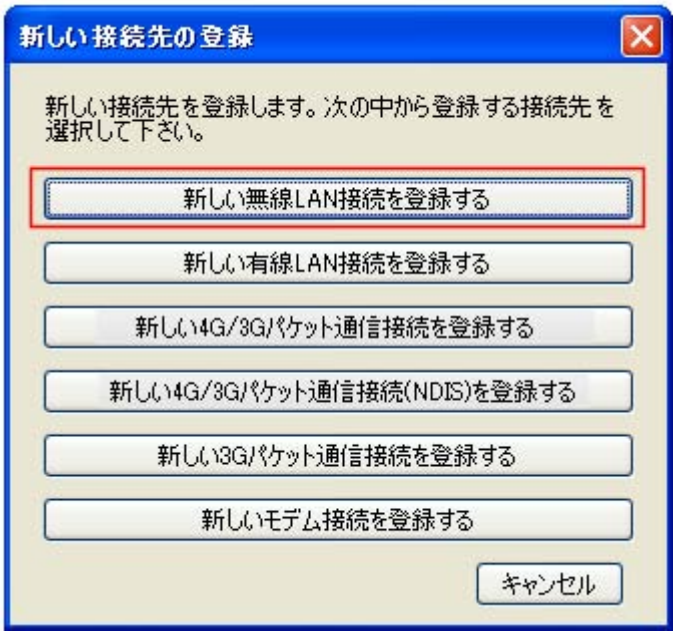
【3－1－4. 接続先の追加手順】

ここでは無線 LAN の追加を例に説明いたします。

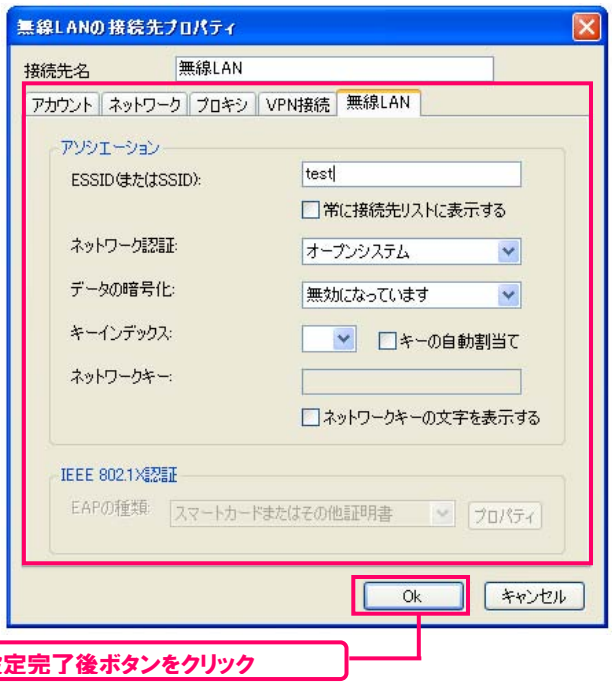
1. 接続先設定画面から「追加ボタンを押します」。



2. 新しい接続先の登録画面で「新しい無線 LAN 接続を登録する」をクリックします。



3. 接続先名と接続情報を入力して「OK」ボタンを押すと設定が完了します。

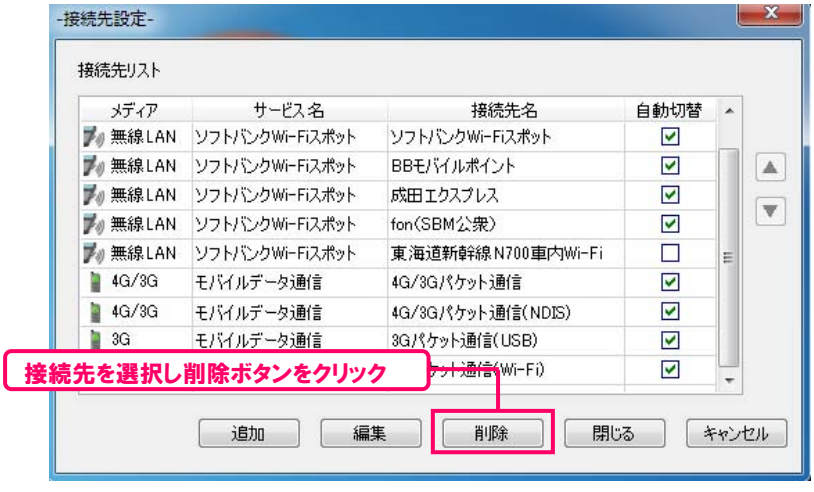


《注意！》 ネットワークのタブ設定項目は、ユーザー権限でご利用の場合反映されません。
また、Windows XPでご利用の場合は、ワイヤレスネットワーク接続に同一のSSIDが設定されていると、接続設定がオンデマンド接続に変更されます。（Windows XPの設定値が上書きされます。）

《情報》 設定項目の詳細は接続用ユーティリティのメニューから「ヘルプ」をご参照下さい。

【3－1－5. 接続先の削除手順】

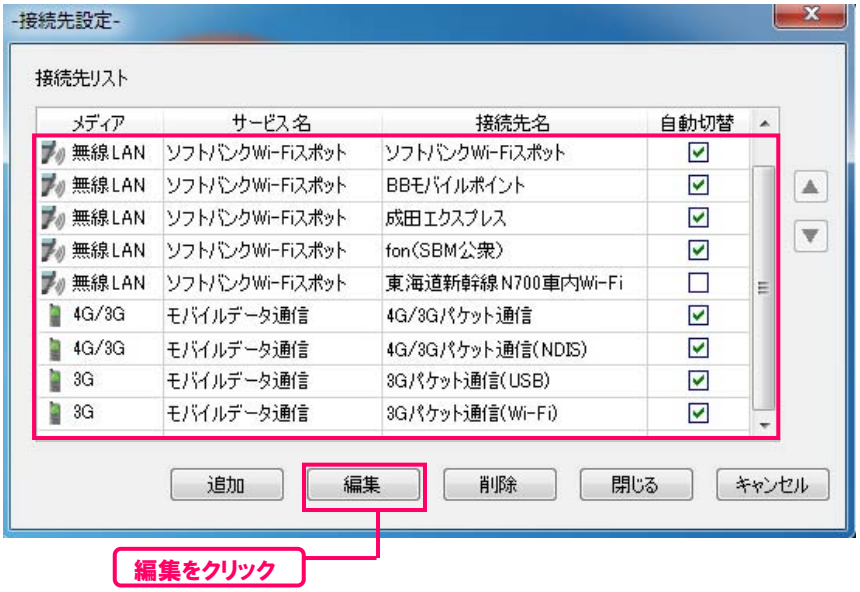
ここでは無線 LAN の削除を例に説明いたします。



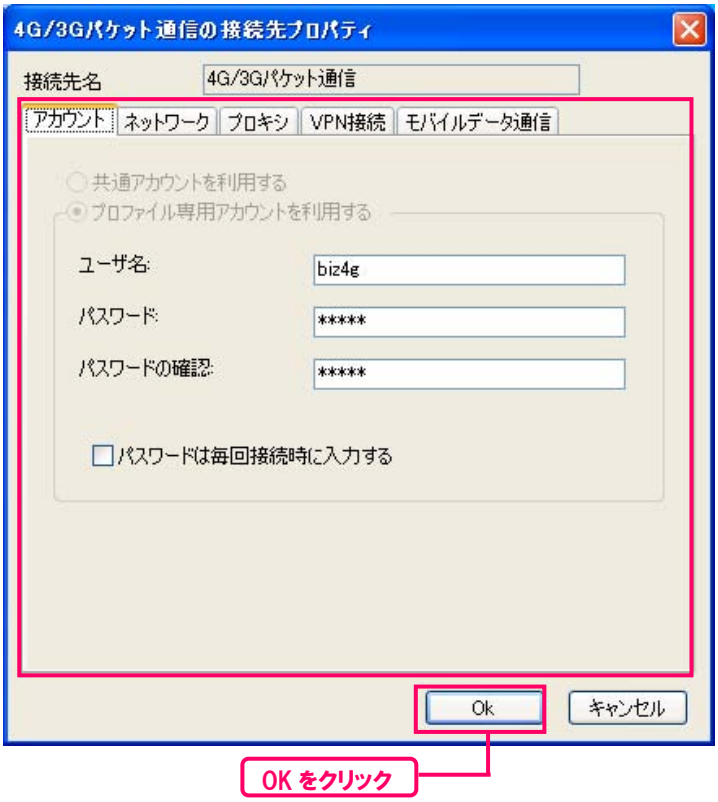
《情報》 初期設定で登録されている接続先は削除することが出来ません。

【3－1－6. 接続先の編集手順】

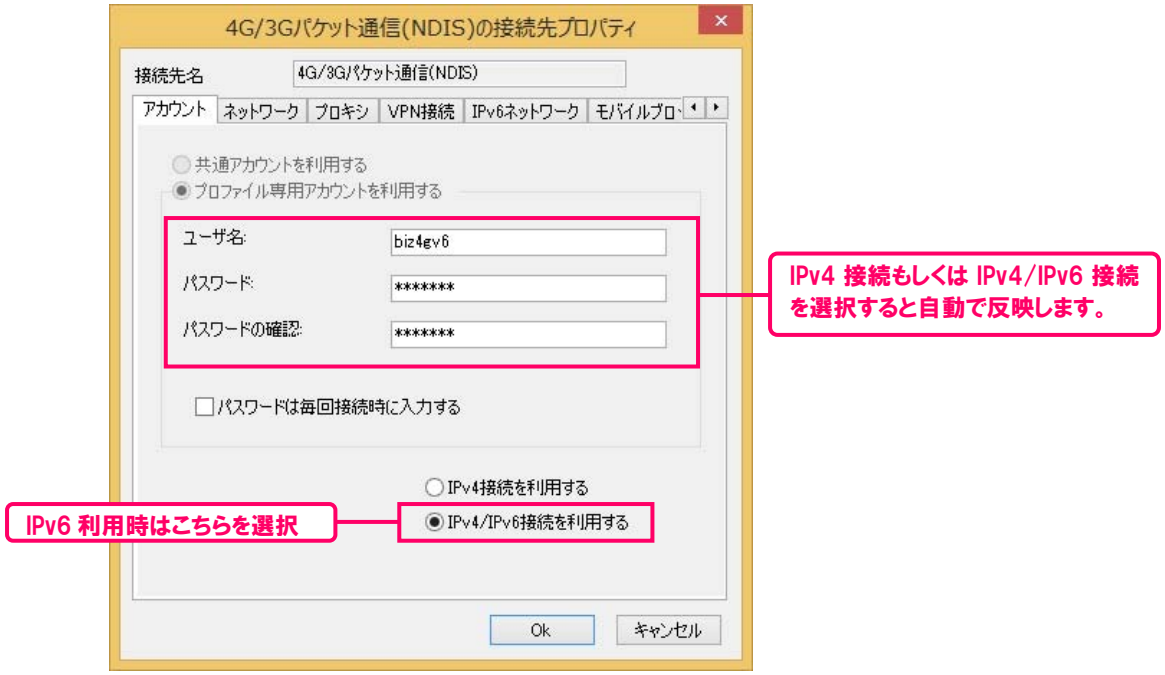
1. 接続先設定画面から編集する接続先を選択し「編集」を押します。



2. 接続先プロパティの設定を編集し「OK」を押します。



※4G/3G パケット通信(NDIS)の設定では、IPv6 通信に関する項目が表示されます。SoftBank 403ZT をご利用の場合で IPv6 通信を行なう場合は、IPv6 通信に関する設定を正しく選択しないと IPv4 通信での接続となりますのでご注意ください。

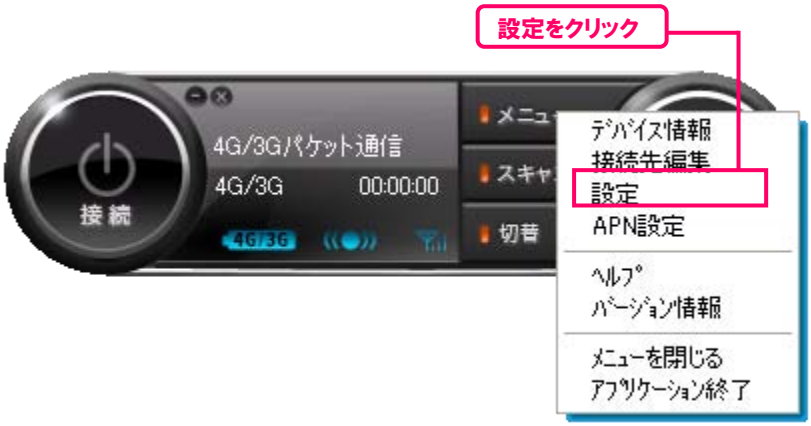


3－2. 基本設定

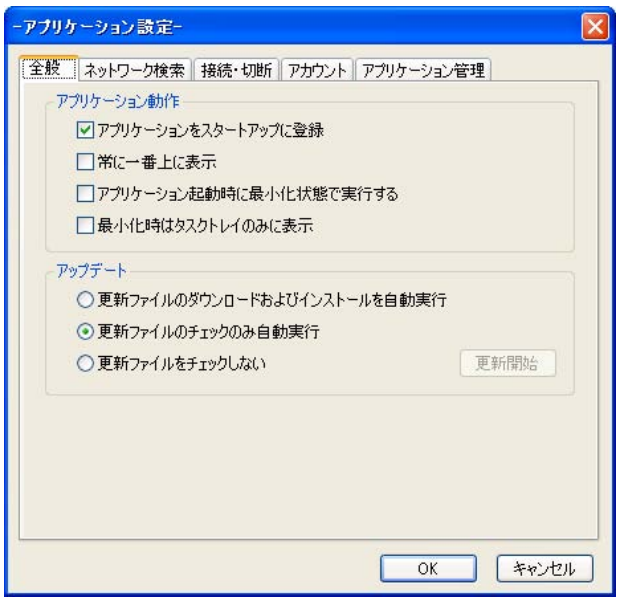
接続用ユーティリティの動作に関する設定を行います。

【3―2―1. 設定画面の表示方法】

1. 接続用ユーティリティから「メニュー」を押して表示される「設定」をクリックします。

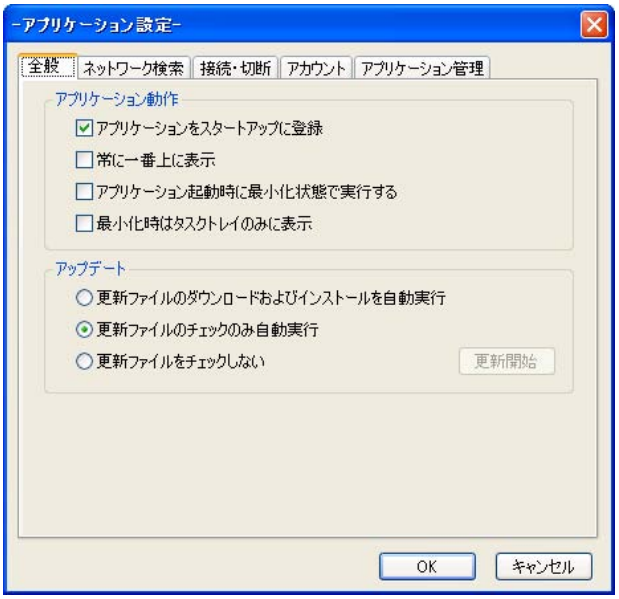


2. アプリケーション設定が表示されます。



【3―2―2. 全般タブの設定】

接続用ユーティリティの基本的な動作設定を行います。



1.「アプリケーションの動作」は以下の動作について設定を行うことができます。

■アプリケーションをスタートアップに登録

アプリケーションをスタートアップに登録するかどうかを設定します。チェックすると、スタートアップに登録され、次回の Windows 起動から自動的にアプリケーションが起動します。
チェックをはずすとスタートアップから登録を削除します。

■常に一番上に表示

画面上でアプリケーションを常に一番手前に表示させるかどうかを設定します。チェックするとアプリケーションが常に一番手前に表示されます。

■アプリケーション起動時に最小化状態で実行する

アプリケーションはメインウインドウを最小化した状態で起動されます。

■最小化時はタスクトレイのみに表示

アプリケーションのタスクバー表示を設定します。チェックすると最小化した際にタスクバーにアプリケーションが表示されなくなります。再度ウインドウを表示する場合には、タスクトレイ上のアイコンをクリックして下さい。

2.「アップデート」は以下の動作について設定を行うことができます。

■更新ファイルのダウンロードおよびインストールを自動実行

アプリケーション起動後、最初のネットワーク接続時に自動的に更新ファイルの有無を確認し、更新ファイルがあった場合にはダウンロードとインストールを自動実行します。

■更新ファイルのチェックのみ自動実行

アプリケーション起動後、最初のネットワーク接続時に自動的に更新ファイルの有無のみ確認し、更新ファイルがあった場合にはダウンロードとインストールを実行するかどうかをユーザーに確認します。

■更新ファイルをチェックしない

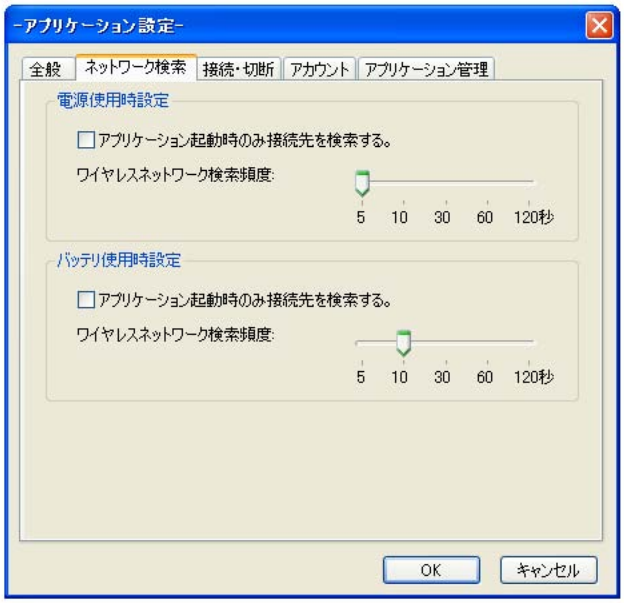
更新ファイルのチェックを行いません。更新ボタンをクリックすることで更新ファイルの確認と更新ファイルのダウンロード・インストールが実行されます。

《注意！》「更新ファイルのダウンロード及びインストールを自動実行」にした場合は、自動実行時の接続状態により更新ファイルのダウンロードで大量の4G/3Gパケット通信が発生する場合があります。「更新ファイルのチェックのみ自動実行」に設定した場合でも、接続用ユーティリティは更新ファイルのチェック30日に1回程度の割合で更新確認が行われ1キロバイト未満の通信が発生します。ご契約の料金プランが従量プランなどで当該更新確認、更新ファイルのダウンロードなどの通信を停止させたい場合は、「更新確認ファイルをチェックしない」に設定して下さい。

《注意！》バージョン1．4．0．0をご利用のお客様は、本機能にてバージョンアップをおこなうことはできません。以下専用サイトより専用アップデートプログラムをダウンロードし、バージョンアップを実施してください。
http://bizdownload.mb.softbank.jp/WiFiAccessUtility/man_update/update_for_1400_1700.exe

【3―2―3. ネットワーク検索タブの設定】

接続用ユーティリティのネットワーク検索に関する設定を行います。



1.「電源使用時設定」と「バッテリー使用時設定」は以下の動作について設定を行うことができます。

■アプリケーション起動時のみ接続先を検索

このオプションをチェックすると、アプリケーションの起動時のみネットワークをスキャンします。定期的にスキャンしたい場合はチェックをオフにします。

■ワイヤレスネットワーク検索頻度

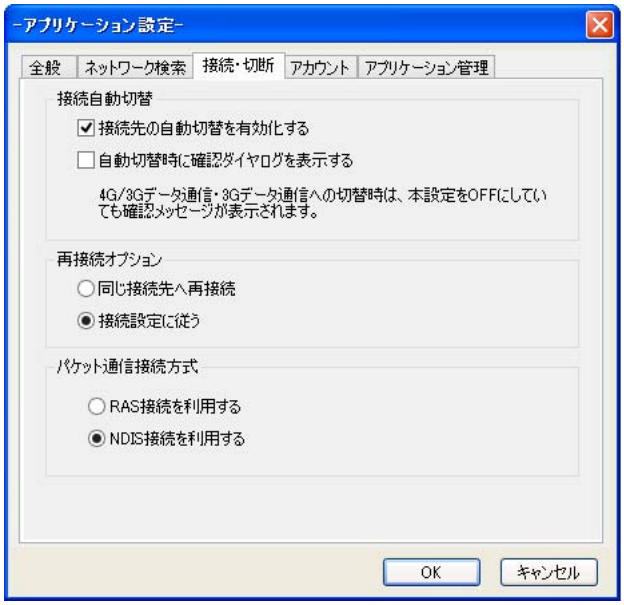
ネットワークスキャンのスキャン間隔を設定します。「アプリケーション起動時のみ接続先を検索」をチェックオフした場合に設定を行うことができるようになります。

5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、120 秒の 5 種類の間隔設定が可能です。

《情報》 検索回数を少なくするほどパソコンのバッテリーの消費や CPU のリソースを抑えることができます。ご利用になるパソコンの環境に合わせて設定して下さい。

【3―2―4. 接続・切替タブの設定】

接続用ユーティリティのネットワーク接続動作に関する設定を行います。



1.「接続自動切替」はユーティリティが検出した接続先へ自動的に接続をおこなうかどうかの設定になります。

■接続先の自動切替を有効化する

のオプションを選択すると、ユーティリティは検出された接続先の内、自動切替対象に指定されている接続先へプライオリティの高い順に自動接続を行おうとします。

■自動切替時に確認ダイアログを表示する

このオプションを選択すると、ユーティリティが自動切替を行う際にユーザーに接続の確認を行うダイアログを表示します。

《情報》 4G/3G パケット通信または 3G パケット通信は「自動切替時に確認ダイアログを表示する」の設定に関係なく通信開始時に必ずダイアログが表示されます。

2.「再接続オプション」はユーザーからの接続要求以外の理由で切断された際の設定になります。

■同じ接続先へ再接続

切断されたネットワークに再接続をします。

■接続設定に従う

切断後に再度接続されている通信デバイスの状態や電波状態をスキャンし、利用可能な接続先を選択し直します。「接続先の自動切替を有効化する」を選択している場合、検出された接続先の中に自動切替対象として設定されている接続先がある場合には、その中でプライオリティの一番高い接続先に自動的に接続を行います。

3.「パケット通信接続方式」は、4G/3G パケット通信または 3G パケット通信に接続する際の接続方式の設定になります。

■RAS 接続を利用する

モデム形式で 4G/3G パケット通信または 3G パケット通信へ接続します。

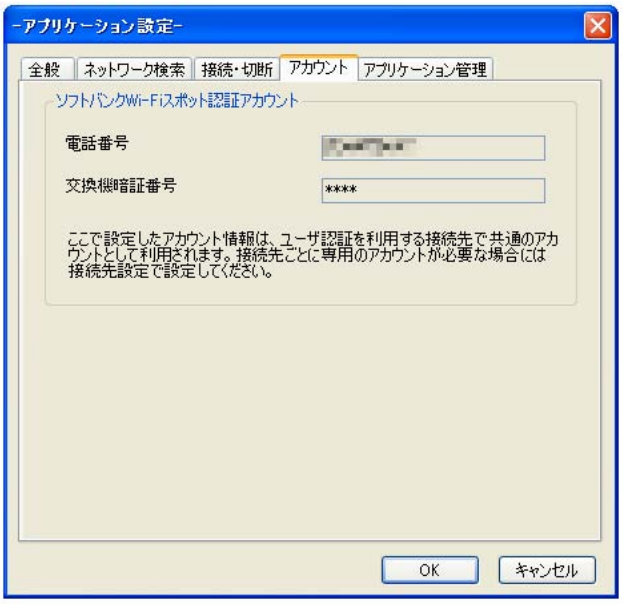
■NDIS 接続を利用する

モバイルブロードバンド形式で 4G/3G パケット通信または 3G パケット通信へ接続します。SoftBank 403ZT のみ対応しています（403ZT 以外の機種で NDIS 接続を選択しても RAS 接続で動作します）。

※SoftBank 403ZT をご利用の場合、IPv6 接続に関する設定を行なっても、パケット通信接続方式で RAS を選択した場合、IPv4 での通信となり、IPv6 での通信はできませんのでご注意ください。

【3－2－5. アカウントタブの設定】

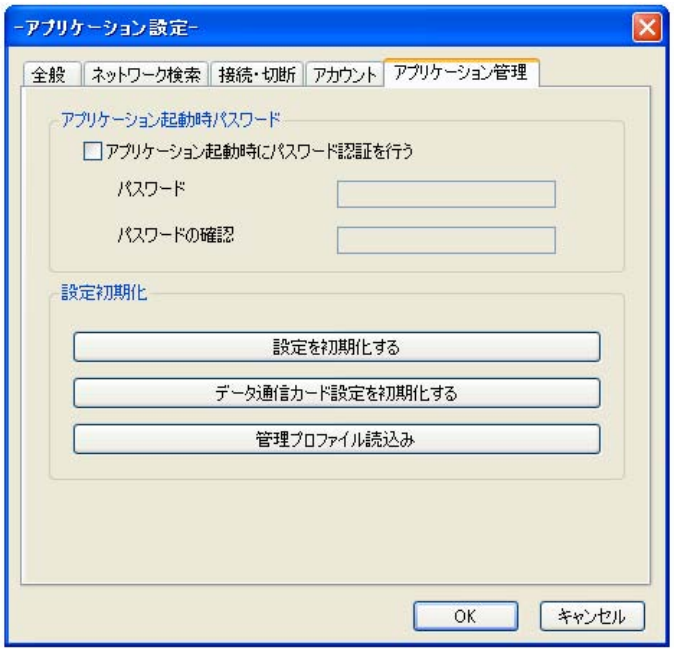
初回起動時に登録した電話番号と交換機暗証番号が表示されます。



《注意！》 異なる電話番号でご利用いただく場合や、交換機暗証番号を再登録したい場合は設定情報を一度削除する必要があります。その場合は、「メニュー」→「設定」→「アプリケーション管理」→「データ通信カード設定を初期化する」を行い登録された情報を削除し、再度初期設定を行う必要があります。

【3－2－6. アプリケーション管理タブの設定】

リセットやパスワードロックなどの設定が行えます。



1.「アプリケーション起動時パスワード」はアプリケーションが起動するときにユーザーが指定したパスワードで起動の認証を行います。

《注意！》 接続用ユーティリティを起動する際にパスワード認証をする設定にした際は必ずパスワードをお控え下さい。パスワードをお忘れになった場合は、再インストールなどを行ってもパスワードロック設定が引き継がれる為、ユーティリティを起動することが出来なくなります。

2.「設定を初期化する」は接続先や接続用ユーティリティの動作設定などを含めすべての情報を初期化します。

3.「データ通信カード設定を初期化する」は「アカウント」タブで表示されているご利用になる電話番号と交換機暗証番号のみを初期化します。

4.「管理プロファイル読込み」は管理者が作成した設定ファイルを読み込むことができます。

《情報》

アンインストール時及び違う電話番号の端末をご利用になる場合は「設定を初期化する」および「データ通信カード設定を初期化する」を行って下さい。

4. 接続用ユーティリティのアンインストール

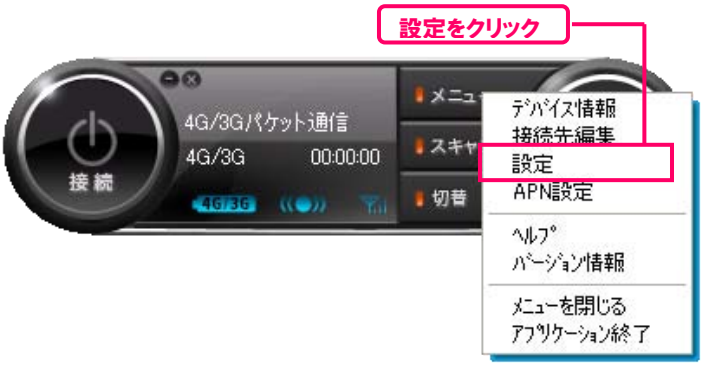
4－1. 設定を初期化してアンインストール

接続用ユーティリティはアンインストールをしても設定がパソコンに残る為、再度インストールされた場合も設定などはアンインストール前と同じ設定になります。

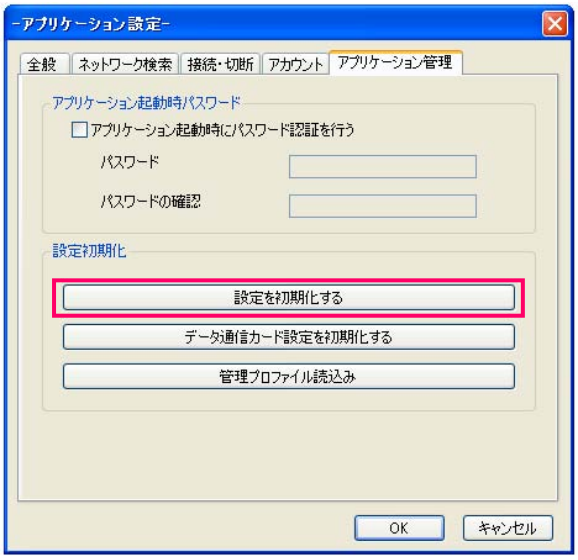
《注意！》 設定を初期化しないでアンインストールをする場合は、パスワードロックやご利用いただける USIM と交換機暗証番号等の情報が保持されております。接続用ユーティリティパソコンを第三者に譲渡した場合は、接続用ユーティリティの前回ご利用になっていたパスワード及び USIM と対象モバイルデータ通信端末が必要になるため、設定を初期化することを推奨します。

【4－1－1. アンインストール手順】

1. 接続用ユーティリティから「メニュー」を押して表示される「設定」をクリックします。

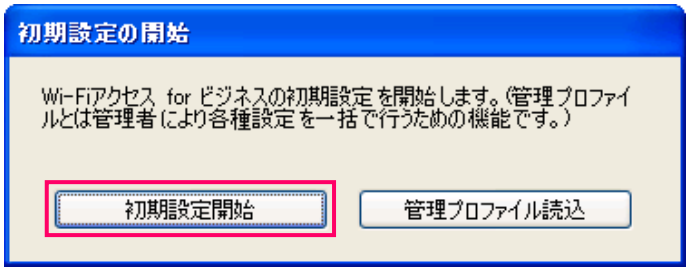


2.「アプリケーションタブ」を押して表示される「設定を初期化する」をクリックします。

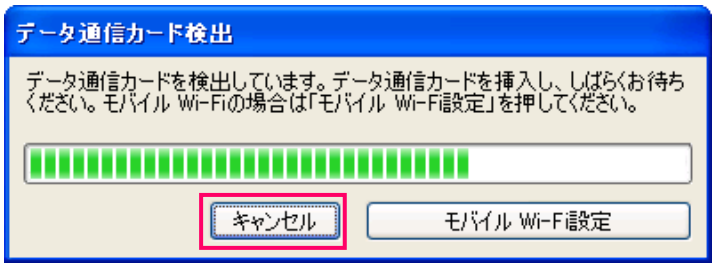


3. データ通信端末をパソコンから取り外します。
※SoftBank 007Z for Bizをご利用の場合は電源をOFFにします。

4. 初期化後、初期設定画面が起動します。
「初期設定開始」をクリックして接続用ユーティリティをご利用いただく為の作業を開始します。



5. データ通信カード検出画面に遷移しますので「キャンセル」を押してアプリケーション終了します。



6. Windowsのコントロールパネルから通常のアンインストール方法で「Wi-Fiアクセス for ビジネス 接続用ユーティリティ」を削除します。

5. お問い合わせ先

ご不明な点は、下記窓口まで御連絡下さい。

【料金及びサービスに関するお問い合わせ】

■ビジネスコールセンター
受付時間/9:00～18:00(土日祝・年末年始を除く)
一般電話・携帯電話・PHSから　0800-919-3909(無料)

【技術的なお問い合わせ】

■データ通信サポート窓口
受付時間 平日 9:00～19:00 土日祝 9:00～17:00
ソフトバンク携帯電話から ＊5525(無料)
一般電話からはフリーコールをご利用下さい 0088-21-5525(無料)